

豊橋市自然史博物館年報

第 34 号

令和 3 年度

ANNUAL REPORT OF THE
TOYOHASHI MUSEUM OF NATURAL HISTORY

No. 34

2021 - 2022

豊橋市自然史博物館

Toyohashi Museum of Natural History
Toyohashi 441-3147, Japan

は じ め に

ゴールデンウィーク 2 日目の令和 3 年 4 月 30 日、大型映像の累計観覧者が 100 万人に達しました。本来ならば盛大にお祝いをすべきところですが、新型コロナウイルスの感染拡大が心配されている時期でもあり、ささやかな式典と記念品贈呈となりました。100 万人目の方は市内在住の方で、日頃からよくご利用いただいているとのことでした。平成 30 年度から販売を開始した年間優待券(パスポート)の発行数も順調に伸びており、今後も魅力あるコンテンツの提供に努めてまいりたいと考えています。

夏休み期間には、令和 2 年度から開催を延期していた特別企画展「地球は昆虫であふれている」を実施することができました。多くの標本展示や生態展示に加えて、来館者の動作によって映像が変化するインタラクティブアートが幅広い年齢層に受け入れられるなど、展示手法としての新たな可能性を感じました。また、同展ポスターのデザインがとても好評で、多くのお問い合わせをいただいたことや、モルフォチョウなどの輝きをリアルに再現する新規格のディスプレイモニター初公開など、標本展示以外の部分でも魅力創出ができたと感じています。同じく夏休み期間、豊橋市自然史博物館が位置する「のんほいパーク(豊橋総合動植物公園)」では、毎年恒例のナイト ZOO が開かれ、当館でも照明や音響など様々な演出を凝らした体験型イベント「ナイトミュージアム」を開催しました。懐中電灯の光を頼りにチェックポイントを探しだし、すべての謎を解くことによって恐竜を助けようという内容で、連日、入場待ちの行列が生じるなど大人気の状況でしたが、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が再び発令されたため、8 月 27 日以降は中止とさせていただきます。

出張等の制限が緩和された 11 月、当館学芸員が調査のために沖縄を訪れた際、海岸に漂着していた小笠原諸島の海底火山「福德岡ノ場」の噴火に由来する軽石を採取。新聞やテレビで大きな話題となっていたことから、市教育委員会と調整し市内の全小中学校に配布。タイムリーな教材として役立てていただきました。

毎年、自然界ではいろいろな出来事があり、それらに伴っていろいろな変化が報告されています。

今年のゴールデンウィークは 3 年ぶりに「緊急事態宣言」や「まん延防止」などの制限がなく、各地で賑が戻ってきているそうです。多くの方が身近な自然に興味を持つきっかけが増えていくことを期待しています。

ここに年報第 34 号を発刊いたします。ご高覧の上、お気づきの点などのご指導をお願いするとともに、今後も市民の方々をはじめ、全国の皆様にご利用いただく博物館を目指し、職員一同努めてまいります。

令和 4 年 6 月
豊橋市自然史博物館

目次

はじめに	2
I. 年間事業	5
1. 令和3年度のあゆみ	5
2. 教育普及活動	6
(1) 第35回特別企画展「地球は昆虫であふれている」	6
(2) 企画展	12
(3) トピック展示	12
(4) 博物館のウラワザ	13
(5) 大型映像	13
(6) 東三河ジオパーク構想事業	16
(7) ワークショップ・展示解説会など	18
(8) 総合動植物公園関連イベント	21
(9) 第17回自然史博物館自由研究展	22
(10) 自由研究相談	23
(11) 市民からの質問等対応	24
(12) 小中高等学校等の学習支援	24
(13) 博物館実習生等の受入れ	26
(14) 研修等の受入れ	27
(15) 出版活動	28
(16) 連携・共催事業等	28
(17) 講師・委員の派遣等	31
(18) ふるさと寄附（ふるさと納税）体験型返礼品	34
3. 調査研究活動	35
(1) 令和3年度博物館職員の論文業績等	35
(2) 学会、研究会等への参加	39
(3) 調査研究に係る出張	40
(4) 外部研究資金助成等の獲得	41
4. 資料の収集・保管活動	42
(1) 採集資料	42
(2) 寄贈資料	43
(3) 収蔵資料状況	45
(4) 鳥類等の資料化	46
(5) 外部研究者の資料利用	46
(6) 資料及び標本の貸出・借用	46

(7) 図書	48
6. 施設整備	50
(1) 収蔵庫5標本棚	50
(2) 特別企画展示室屋上防水改修工事	50
(3) カプセルトイ自動販売機の設置	50
(4) 修繕等	50
II. 利用状況	52
1. 入館者	52
(1) 自然史博物館利用統計	52
(2) 入館者種別	53
(3) ホームページ閲覧者数	54
(4) 石巻自然科学資料館入館者状況	55
III. 組織及び運営	56
1. 組織	56
(1) 運営組織	56
(2) 自然史博物館職員	56
2. 博物館の使用料等	57
3. 決算	58
(1) 令和3年度歳入歳出決算見込	58
4. 豊橋市自然史博物館協議会	59
5. 各種委員会	60
(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員	60
(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会	60
(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会	61
6. 自然史博物館ボランティア	62
IV. 条例、規則、要綱	64
V. 自然史博物館の概要	70

I. 年間事業

1. 令和3年度のあゆみ

3. 4. 1 大型映像「ようこそ恐竜ミュージアム」、「オーシャン」(～6/19)
4. 1 年間優待券(大人)の料金改定(1,500円を2,000円へ)
4. 5 臨時開館
4. 17 「国際博物館の日」記念企画展「新蔵資料／学芸員の研究成果紹介展」(～5/23)
4. 30 大型映像累計100万人達成
5. 6 臨時開館
5. 12 大型映像の定員を300人から150人へ ※愛知県に緊急事態宣言(～5/31)、(6/1～6/20)
5. 16 博物館ボランティア総会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
6. 16 第1回博物館研究委員会の開催
6. 20 恐竜くんトークショー
7. 2 豊橋駅東西自由連絡通路に「昆虫トリックアート」を設置(～8/31)
7. 9 第35回特別企画展「地球は昆虫であふれている」(～9/5)、煌めきディスプレイの展示(8/10～9/5)
7. 16 第1回博物館協議会の開催
7. 21 ナイトZOO開催(～9/26) ※愛知県に緊急事態宣言発出のため8/27以降の全期間、開催中止
7. 25 特別企画展記念講演会①「害虫との戦いや虫ケア用品」
7. 30 博物館実習生の受入れ(～8/6)
8. 9 インターン受入れ(～9/12) ※愛知県に緊急事態宣言発出のため8/27以降は受入れ中止
8. 22 特別企画展記念講演会②「希少昆虫の守り方」
9. 5 特別企画展記念講演会③「昆虫がヤバイ」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
10. 1 大型映像上映開始(～12/3)「ウォーキング with ダイナソー」、「フライングモンスター」
11. 3 「とよしん創立100周年感謝祭 in 『のんほいパーク』」イベントの開催 ※無料開放
11. 6 第17回自然史博物館自由研究展(～11/28)、同表彰式
11. 6 530のまち 環境フェスタの開催
11. 13 名古屋大学出前授業①「鍾乳石に記録された地球の気象変動」
11. 20 名古屋大学出前授業②「太古の海に光る森」
11. 21 名古屋大学出前授業③「三河にハワイが？-2億年前の海洋島-」
11. 27 トピック展示「沖縄県に漂着した軽石」の展示(～12/12)
12. 4 大型映像上映開始(～1/30)「アイスエイジ」、「発見！南極に恐竜がいた！(2D3D同時視聴版)」
12. 10 恐竜大掃除
12. 18 企画展「干支展 寅」(～1/16)
12. 24 トピック展示「愛知県から見つかった新種のカタピロアメンボ」の展示(～1/30)
4. 2. 1 大型映像上映開始(～3/31)「シーモンスター」、「グレーの子パンダ」
2. 18 博物館資料収集委員会の開催
2. 19 企画展「美しい砂の世界-日本の砂、世界の砂、地層の砂-」(～3/20)
2. 28 第3回博物館研究委員会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面にて開催
3. 6 東三河ジオパーク構想シンポジウム「自然災害はどこまで『想定』できるか」の開催 ※開催中止
3. 17 園内消防訓練
3. 28 臨時開館

2. 教育普及活動

(1) 第35回特別企画展「地球は昆虫であふれている」



開催期間：令和3年7月9日（金）

～9月5日（日）52日間

会場：特別企画展示室（約600㎡）

主催：豊橋市自然史博物館

概要：昆虫は4億8千万年前に出現し、海中を除く地球上のあらゆる環境に適応、多様化を遂げ、現在約100万種が知られている。その種数は、地球上の全生物種の半数以上をしめ、陸上生態系の中核を担っている。一方で、地球上の昆虫の40%が減少しているともいわれている。この企画展では、昆虫の進化と多様性を紹介し、昆虫に親しんでもらうとともに、昆虫が引き起こしている問題や、身近に起きている生物多様性損失の現状についても紹介し、理解を深める。

展示点数：約2,000点

企画・展示担当：長谷川道明

アートキュレーター：杉森順子（映像作家／桜

美林大学教授）

ポスターデザイン：小原 藍 (plaplax)

インタラクティブアート：近森 基・小原 藍 (plaplax)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開場式は中止。

【展示構成】

1. 昆虫の出現

各時代の昆虫化石と「生きている化石」と呼ばれる現生種を展示し、昆虫の進化と系統を紹介。

<主な展示物>

メガネウラの仲間（化石）、ムカシアミバネ目（化石）、ゴキブリの仲間（化石）、ムカシトンボ（化石、現生）、ムカシヤンマ（化石、現生）、タガメの仲間（化石、現生）等。



2. 多様性の爆発と繁栄

美しい昆虫や変わった姿をした昆虫など、世界各地の昆虫を紹介。

<主な展示物>

カザリシロチョウの仲間、トリバネアゲハの仲間、カラスアゲハの仲間、クワガタムシの仲間、カブトムシの仲間、ナナフシの仲間、タガメの仲間など。



3. 昆虫の多様性の謎にせまる

隠蔽色や警告色、目玉模様、擬態、多型、地理的変異などから昆虫の色や模様の役割や変異を紹介。



<主な展示物>

多型 (クワガタムシ、カブトムシ、チョウの季節型等)、毒をもつチョウとそれに擬態するチョウ (アサギマダラとカバシタアゲハ等)、「擬

態クイズ」、メダマチョウの仲間、キシタバの仲間、地理的変異 (カワラハンミョウ、メガネロリバネアゲハ等)。

4. 昆虫の多様性を研究する

豊橋市から発見された新種、小笠原諸島のカミキリムシ科甲虫の研究、チョウの交雑実験、分子生物学による最新の研究などを紹介。

<主な展示物>

ドウクツメナシタマキノコ (paratype)、ハベメクラチビゴミムシ拡大模型、キタジマモモブトカミキリ (holotype)、オガサワラオオシロカミキリ (holotype)、ノヤシケシカミキリ (holotype)、ミヤマカラスアゲハとキアゲハの雑種等アゲハチョウ類の雑種標本、ナミテントウの斑紋多型の仕組み (動画)、アカボシルリゴキブリ、ウスオビルリゴキブリ、ミカワオサムシの色彩変異標本等。

5. 昆虫との戦い

害虫としての昆虫と虫ケア製品について紹介。





<主な展示物>

世界のごきぶりホイホイ、巨大ごきぶりホイホイ、様々な虫ケア製品、人の体温に反応する蚊の実験等。

6. 地球から昆虫が消える

「地球上の昆虫の40%以上が絶滅の危機にある」といわれる昆虫類の減少の実態を紹介。

<主な展示物>

愛知県から絶滅した昆虫（シルビアシジミ、ヒョウモンモドキ、スジゲンゴロウ等）、豊橋市から姿を消したトンボ（ベッコウトンボ、コバネアオイトトンボ等）、表浜のヤマトマダラバッタ調査紹介パネル等。

【体験コーナー】

<ふれあい昆虫ケージ>

展示室内に設置した巨大ケージでカブトムシ、ヘラクレスオオカブト、アクテオンゾウカブト等の昆虫とふれあう場所を設置した。



<インタラクティブアート>

映像作家で桜美林大学教授の杉森順子さんをアートキュレーターにお願いし、アートユニットplaplastの近森 基さん、小原 藍さんによる2作品を制作展示した。

①Ancient Sign～古代昆虫の気配

(インスタレーション 2021年制作)

蚊帳を模した交互に配置した7枚の布にメガネウラなどの古代昆虫が観覧者に反応して自由に飛び回る。



②Niche～昆虫たちのいるところ

(インスタレーション 2021年制作)

床のスクリーンに投影される様々な環境に足を踏み入ると、カワラバッタやフタモンマルクビゴミムシ、ゲンゴロウ、アメンボ、カブトムシなどその環境に生息する昆虫が現れて動き出す。



【関連行事】

特別企画展記念講演会①「害虫との戦いや虫ケア用品（殺虫剤）の開発」

講 師：アース製薬研究部 浅井一秀さん

期 日：令和3年7月25日（日）

参加者：40名

内 容：蚊やゴキブリなど身近な害虫への対処方法や虫ケア製品の開発秘話を紹介。



特別企画展記念講演会②「希少昆虫の守り方」

講 師：神奈川県立生命の星・地球博物館主任学芸員 荻部治紀さん

期 日：令和3年8月22日（日）

参加者：28名

内 容：日本から消えようとしている希少昆虫とその保全最前線を紹介。

特別企画展記念講演会③「昆虫がヤバイ」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：令和3年9月5日（日）

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止

ワークショップ「夜の動物園で昆虫を観察しよう」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：令和3年8月8日（日）

場 所：総合動植物公園内

参加者：34人

内 容：夜間、動植物公園内でクワガタムシやカブトムシを観察。

【特別展示】

新開発の高性能ディスプレイ「煌めきディスプレイ」の展示

これまで再現できなかったモルフォチョウの翅の煌めき感を再現することに成功した新開発のディスプレイをイノラックスジャパン株式会社と株式会社IMAGICA、株式会社フォトロンとの協力で展示した。

期 間：令和3年8月10日（火）～9月5日（日）



【名古屋芸術大学との連携事業】

①「トリックアート制作」

特別企画展をPRするため、名古屋芸術大学の檀田珠実教授指導のもと、メディアコミュニケーションデザインコースの学生が作成したトリックアートを豊橋駅に設置した。

豊橋駅設置期間：令和3年7月2日（金）～8月31日（火）



【事業費】

総事業費 8,865,000 円（予算額）
7,092,613 円（決算額）

【観覧者数】

有料 8,681 人（観覧料 4,541,980 円）
無料 6,340 人
合計 15,021 人
（1日平均 289 人）

月別観覧者数 (人)

月	日数	有料	無料	計
7月	20日間	3,365	2,447	5,812
8月	27日間	4,829	3,259	8,088
9月	5日間	487	634	1,121
計	52日間	8,681	6,340	15,021

【観覧料】

大人 800 円
小中学生、市内在住 70 歳以上 400 円

【印刷物】

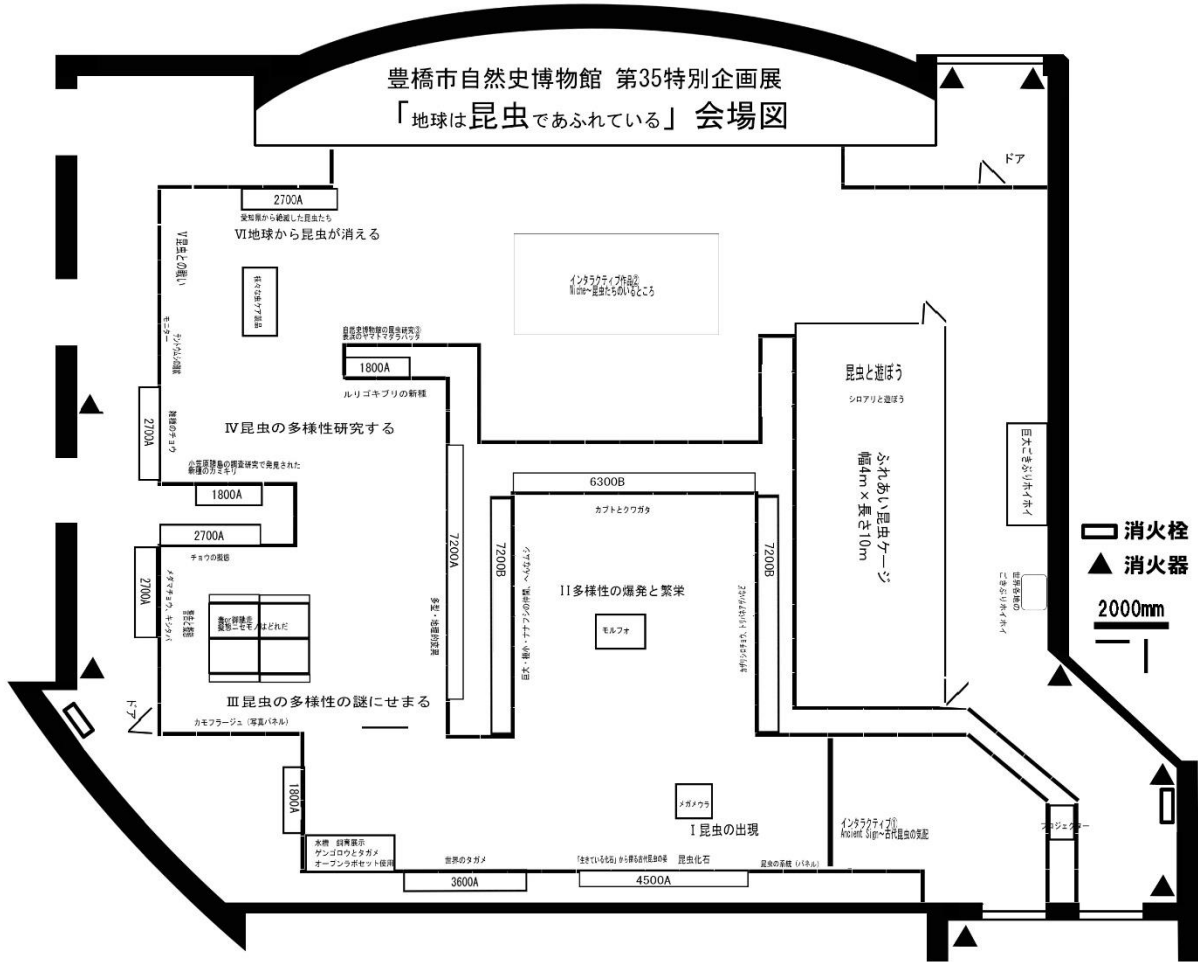
- ・ポスター B2 カラー (2,300 枚)
- ・広報用チラシ A4 カラー (100,000 枚)
- ・招待券 カラー (2,000 枚)
- ・展示解説書 A4 カラー (700 部)
- ・クリアファイル A4 (1,000 部)

【協力者・協力機関】

（個人）浅井一秀、有吉 立、植村好延、大内秀之、蟹江 昇、苅部治紀、倉田智子、初宿成彦、戸田尚希、新実輝幸、丹羽美琴、丹羽美空、野村拓志、簗島悠介、柳澤静啓、湯沢宜久（五十音順、敬称略）

（団体）アース製薬株式会社、イノラックスジャパン株式会社、株式会社IMAGICA、株式会社フォトロン、大学共同利用機関法人自然科学研究機構 基礎生物学研究所、名古屋芸術大学、学校法人桜丘学園生物部、磐田市竜洋昆虫自然観察公園、大阪市立自然史博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、北九州市立いのちのたび博物館、栃木県立博物館、豊橋市自然史博物館ボランティア（順不同、敬称略）

【会場図】



(2) 企画展

1) 「国際博物館の日」記念 新蔵資料/学芸員の研究成果紹介展

開催期間：令和3年4月17日（土）～
5月23日（日） 37日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：令和2年度に新しく収蔵された標本の展示や、学芸員の最新の研究成果などを紹介。

会期中入場者数：39,638人



3) 美しい砂の世界—日本の砂、世界の砂、地層の砂—

開催期間：令和4年2月19日（土）～
3月20日（日） 30日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：美しい砂の世界と、そこから読み取れる情報や、生活にどう役立っているかなどを紹介。

会期中入場者数：30,849人



2) 干支展 寅

開催期間：令和3年12月18日（土）～
令和4年1月16日（日） 30日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

共催：浜松市博物館

概要：令和4年の干支の動物「トラ」に因んだ生物や玩具・民俗資料などを展示。

会期中入場者数：28,017人



(3) トピック展示

1) 総合動植物公園内で見られるカタツムリ

開催期間：令和3年5月21日（金）～
7月22日（木） 54日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているカタツムリの実物を紹介と「園内生き物ガイド」の配布。

会期中入場者数：74,060人

2) 総合動植物公園内で見られるセミ

開催期間：令和3年7月23日（金）～
12月23日（木） 133日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているセミの実物を紹介と「園内生き物ガイド」の配布。

会期中入場者数：321,636人

3) 沖縄県に漂着した軽石

開催期間：令和3年11月27日（土）～
12月12日（日） 14日間

会場：イントロホール

概要：福徳岡ノ場の噴火に伴い噴出し、沖縄本島北部の海岸に漂着した軽石を展示。

会期中入場者数：34,578人

4) 愛知県から見つかった新種のカタビロアメンボ

開催期間：令和3年12月24日（金）～
令和4年1月30日（日） 30日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：愛知県から見つかった新種のカタビロアメンボのパラタイプ標本を展示。

会期中入場者数：60,335人

(4) 博物館のウラワザ

平成30年度の企画展で製作した博物館資料作製作業ブースを自然史スクエアに設置。月替わりで、分野ごとの資料作製作業を展示した。

日時：土・日曜日（隔週） 13:30～14:30

月	分野
4～5月	昆虫
6月	植物
7～8月	魚類
9月	脊椎動物
10～11月	植物
12月～令和4年1月	貝類
2月	化石
3月	岩石・鉱物

(5) 大型映像

1) 上映状況

①上映期間 令和3年4月1日～6月19日

【通常上映】

「ようこそ恐竜ミュージアム」

3D版・2D版（35分）

「オーシャン」2D版（42分）

【期間限定上映】（4/1～5）

ポケモン3Dアドベンチャー「ミューを探せ」

「ピカチュウの海底大冒険」

3D版（27分）

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ようこそ恐竜ミュージアム3D版	800	400
ようこそ恐竜ミュージアム2D版	600	200
オーシャン2D版	500	200
ポケモン3Dアドベンチャー3D版	500	200

②上映期間 令和3年10月1日～12月3日

【通常上映】

「ウォーキング with ダイナソー」

3D版・2D版（43分）

「フライングモンスター」

3D版・2D版（40分）

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ウォーキング with ダイナソー3D版	700	300
ウォーキング with ダイナソー2D版	500	200
フライングモンスター3D版	700	300
フライングモンスター2D版	500	200

③上映期間 令和3年12月4日～令和4年1月30日

【通常上映】

「発見！南極に恐竜がいた」

Hidden stereo版（4K3D-2D同時視聴）

(20分)
「アイスエイジ」
3D版・2D版 (35分)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
発見！南極に恐竜がいた Hidden stereo 版 (4K3D-2D 同時視聴)	600	300
アイスエイジ 3D 版	700	300
アイスエイジ 2D 版	500	200

④上映期間 令和4年2月1日～3月31日

【通常上映】

「シーモンスター」
3D版・2D版 (40分)
「グレーの子パンダ」2D版 (35分)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
シーモンスター3D版	700	300
シーモンスター2D版	500	200
グレーの子パンダ 2D版	500	200

2) 関連イベント

①「恐竜くんトークショー」

日 時：令和3年6月20日
1回目 10:00～
2回目 15:00～

定 員：各回100人

場 所：特別企画展示室（大型映像会場）

内 容：恐竜に関する展示、トークショー、イラスト制作、執筆などで幅広く活躍する恐竜研究者、「恐竜くん」によるトークショーを開催。トークショー終了後、ようこそ恐竜ミュー

ジウム (2D版) を上映。

参加料：大人600円、中学生以下200円（総合動植物公園入園料が必要）



3) 大型映像観覧者累計100万人達成

令和3年4月30日の第1回目（10:30～）の上映で、大型映像の累計観覧者数が100万人に達した。

100万人目の観覧者は、豊橋市内在住の親子（鈴木さん）で、大型映像と特別企画展が1年間観覧可能な招待券を贈呈した。また、第1回目の観覧者全員で、100万人達成を祝って記念撮影を行い、4月30日に来場した観覧者全員に記念品を贈呈した。



4) 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

上映後の場内換気、肘掛のアルコール消毒、観覧者へのマスク着用のお願ひなどの取り組みを行った。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令された令和3年5月12日～6月19日の上映期間中は、通常定員300人を150人に変更した。

令和3年度 大型映像観覧者数（上映回数は810回）

区 分	上映（開 場）日数	観覧者 総数 （人）	会期中の入館者 数（人）（※1）	観覧率	年間優待券 （購入）（円） （※2）	観覧料 （円）	
4/1～6/19 オーシャン他2作 品	4月	27日間	3,706	55,872	6.6%	110,000	1,076,440
	5月	27日間	3,572	64,978	5.5%	83,000	1,260,700
	6月	17日間	1,396	18,026	7.7%	21,000	409,000
6/20 恐竜くんト ークショー	6月	1日間	193	5,753	3.4%	0	80,200
【大型映像】前期	小計	72日間	8,867	144,629	6.1%	214,000	2,826,340
10/1～12/3 ウォーキング with ダイナソー 他1作品	10月	27日間	4,467	74,298	6.0%	243,000	1,297,400
	11月	25日間	3,704	78,017	4.7%	130,500	1,116,600
12/4～1/30 アイスエイジ他1 作品	12月	24日間	2,652	40,120	6.6%	82,500	671,900
	1月	26日間	3,461	52,114	6.6%	116,000	952,900
2/1～3/31 グレーの子パンダ 他1作品	2月	19日間	2,383	35,110	6.8%	118,500	621,100
	3月	28日間	4,378	71,716	6.1%	181,000	1,051,700
【大型映像】後期	小計	149日間	21,045	351,375	6.0%	871,500	5,711,600
合 計		221日間	29,912	496,004	6.0%	1,085,500	8,537,940

※1 上映していない期間を除く

※2 特別企画展準備期間の年間優待券の売上は6月、終了後の売上は10月に含める

(6) 東三河ジオパーク構想事業

東三河には多くの特徴的な地形、地質が存在する。自然史博物館では、これらを保全・保護し、観光資源として生かす「ジオパーク」の認定を目指す活動に、新城市に事務局を置く「東三河ジオパーク構想推進準備会」を軸に、東三河8市町村と連携して取り組んでいる。

令和3年度は、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつの活動となった。推進準備会で開催を予定していたシンポジウム及びジオツアーは、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。また、令和2年度に設立した東三河ジオガイド協会も、請け負ったジオツアーや研修等は、秋の一時期を除き中止や延期が相次いだ。

博物館独自の取り組みとしては、教育普及事業の一環としてジオツアーを3回（うち2回中止）開催し、推進準備会の一員として、認定に向けた情報収集、情報発信等に取り組んだ。

1) ジオツアーの開催

新たなジオサイトの開発や、新規顧客の獲得を目的としたジオツアーを令和3年度は1回開催し18人が参加した。2、3回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

ジオツアー①「豊川の石はどこから」

講師：加藤千茶子（当館主任学芸員）

期日：令和3年7月24日（土）

場所：新城市、設楽町ほか

参加者：18人

内容：豊川に集まる石のルーツを探る。

ジオツアー②「地質と植物」

期日：令和3年9月25日（土）

場所：田原市

内容：地面の下の地質と植物の関係を探る。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ジオツアー③「東三河の砂紀行」

期日：令和4年2月26日（土）

場所：田原市、豊橋市

内容：表浜の砂浜など身近な砂の世界を探る。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2) ジオパーク認定へ向けた情報収集・発信等

東三河ジオパーク構想推進準備会は、日本ジオパークネットワークの準会員として、全国大会や研修会、中部ブロック大会等への出席や情報発信、ジオパークの認定申請などの継続的な情報収集を行っている。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響で、大会や研修会等は、延期又はZOOMによるオンライン開催となった。

また、令和4年度開催予定の日本ジオパーク全国大会白山手取川大会における実行委員会学術・教育委員として会議に出席した。

①日本ジオパークネットワーク中部ブロック会議

期日：令和3年7月12日（月）、9月10日（金）

場所：ZOOMによるオンライン開催

出席職員：加藤千茶子

②日本ジオパーク全国大会白山手取川大会実行委員会学術・教育委員会会議

期日：令和3年9月17日（金）、令和4年1月14日（金）

場所：ZOOMによるオンライン開催

出席委員：加藤千茶子

③第11回日本ジオパークネットワーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会

期日：令和3年10月3日（日）～5日（火）

場所：ZOOMによるオンライン開催

出席職員：加藤千茶子

④日本ジオパークネットワークおためし検定
説明会

期日：令和3年12月21日（火）
場所：ZOOMによるオンライン開催
出席職員：加藤千茶子

⑤第9回日本ジオパークネットワーク中部ブ
ック大会

期日：令和4年1月30日（日）
場所：ZOOMによるオンライン開催
出席職員：加藤千茶子

3) 東三河ジオパーク構想推進準備会

第1回

期日：令和3年5月26日（金）
場所：ZOOMによるオンライン開催
出席職員：坂本博一、加藤千茶子

第2回

期日：令和3年10月8日（金）
場所：豊橋市役所
出席職員：坂本博一、大澤昌章、加藤千茶子

第3回

期日：令和4年3月25日（金）
場所：ZOOMによるオンライン開催
出席委員：坂本博一、加藤千茶子

4) ジオ専門部会

第1回

期日：令和3年7月28日（水）
場所：新城市鳳来寺山自然科学博物館
出席委員：加藤千茶子

第2回

期日：令和3年9月3日（金）
場所：新城市役所
出席委員：加藤千茶子

第3回

期日：令和3年10月15日（金）
場所：新城市・東栄町地内（準備会主催ジオ
ツアー下見）
出席委員：加藤千茶子

第4回

期日：令和3年11月25日（木）
場所：新城市役所
出席委員：加藤千茶子

第5回

期日：令和3年12月23日（木）
場所：新城市役所
出席委員：加藤千茶子

第6回

期日：令和4年1月20日（木）
場所：新城市役所
出席委員：加藤千茶子

第7回

期日：令和4年2月18日（金）
場所：新城市鳳来寺山自然科学博物館
出席委員：加藤千茶子

5) 事務局会議

開催期日：令和3年5月12日、7月14日、8
月23日、9月16日、令和4年2月
2日

開催場所：豊橋市役所

出席職員：坂本博一、大澤昌章、加藤千茶子

6) ジオガイド運営委員会

開催期日：令和3年8月5日、9月9日、10月
9日（総会・地区別研修）、11月12
日、12月17日、令和4年1月20
日、3月18日

開催場所：新城市鳳来寺山自然科学博物館及び
新城市役所等

出席職員：加藤千茶子

(7) ワークショップ・展示解説会など

地学や生物学などの自然科学に親しみ基本的な知識が得られる入門講座として、開館時から毎年開催している。令和3年度は、ワークショップ、解説会、収蔵庫見学会、名古屋大学出前授業を開催した。

1) ワークショップ

①潮干狩りで生きものを探そう

講師：西 浩孝（当館主任学芸員）

期 日：令和3年5月29日（土）

参加者：22人

内 容：干潟で見られる生きものを観察し、生態系について学んだ。

②石巻山でカタツムリを観察しよう

講師：西 浩孝（当館主任学芸員）

期 日：令和3年6月12日（土）

参加者：25人

内 容：カタツムリの面白い生態や行動を観察した。

③漂着物を観察しよう

講師：安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：令和3年7月3日（土）

※大雨警報発令のため中止

④外来魚調査隊

講師：坂本博一（当館館長）

期 日：令和3年7月28日（水）

場 所：向山大池

参加者：25人

内 容：ため池で外来魚調査を行い、見分け方や問題点について学んだ。

⑤ティラノサウルスの歯を作ろう！

講師：安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：令和3年7月31日（土）

8月1日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：各日、11人、13人

内 容：ティラノサウルスの歯のレプリカを作製した。

⑥化石クリーニング体験

講師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：令和3年8月4日（水）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：6人

内 容：三葉虫等の化石のクリーニング体験を行った。

⑦チリモン探し体験

講師：坂本博一（当館館長）

期 日：令和3年8月5日（木）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：45人

内 容：シラスに混じって漁獲された小さな生きものを探した。

⑧小さな鉱物をしらべてみよう

講師：加藤千茶子（当館主任学芸員）

期 日：令和3年8月8日（日）

場 所：自然史博物館 学習室1・講堂

参加者：21人

内 容：砂レキ中の鉱物を取り出し、実験等を交えつつ石の調べ方を学んだ。

⑨砂の中から微小貝を探そう

講師：西 浩孝（当館主任学芸員）

期 日：令和3年10月9日（土）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：30人

内 容：貝殻の入った砂の中から小さな貝を探した。

⑩身近な植物を観察しよう

講師：稗田真也（当館学芸員）

期 日：令和3年10月30日（土）

場 所：のんほいパークほか

参加者：9人

内 容：のんほいパークの周辺の植物を観察した。

2) 解説会

学芸員がそれぞれの専門分野について、博物館内で行う解説会。申込不要で参加無料。令和3年度は7回開催し、363人が参加した。

①すきまに生える植物を観察しよう

講 師：稗田真也（当館学芸員）

期 日：令和3年4月11日（日）

場 所：自然史博物館前

参加者：26人

内 容：博物館前に生える植物について解説。



②生きものがつくり出す石

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）

期 日：令和3年6月13日（日）

場 所：自然史博物館

参加者：50人

内 容：真珠や胆石など生きものがつくり出す石についての紹介。



③いろいろな化石のだんめん

講 師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：令和3年6月19日（土）

場 所：自然史博物館

参加者：21人

内 容：アンモナイトなどの化石の断面の特徴を紹介。



④カタツムリのひみつ

講 師：西 浩孝（当館主任学芸員）

期 日：令和3年6月26日（土）

場 所：自然史博物館

参加者：78人

内 容：カタツムリの面白い生態や行動を紹介。

⑤サメのからだを調べよう

講 師：坂本博一（当館館長）

期 日：令和3年11月20日（土）

場 所：自然史博物館

参加者：80人

内 容：サメを解剖しからだのしくみを紹介。



⑥スズメバチの巣を解体してみよう

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：令和3年11月20日（土）

場 所：自然史博物館

参加者：88人

内 容：スズメバチの巣を解体して巣のしくみを観察。

⑦ネコ科の動物

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：令和4年1月3日（月）

場 所：自然史博物館イントロホール

参加者：20人

内 容：干支の動物トラとネコ科の動物について紹介。



3) 収蔵庫見学会

収蔵庫に保管されている博物館資料についてテーマ別に担当学芸員が案内。令和3年度は5回開催し、97人が参加した。

①貝類

講 師：西 浩孝（当館主任学芸員）

期 日：令和3年4月17日（土）

参加者：24人



②魚類

講 師：坂本博一（当館館長）

期 日：令和3年10月16日（土）

参加者：14人

③植物

講 師：稗田真也（当館学芸員）

期 日：令和3年11月27日（土）

参加者：3人

④化石

講 師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：令和4年3月5日（土）

参加者：26人

⑤岩石・鉱物

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）

期 日：令和4年3月12日（土）

参加者：30人



4) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2021

平成 26 年度からあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事業として、名古屋大学が取り組む第一線研究について紹介するサイエンス・トーク「名古屋大学出前授業 in 豊橋」を開催している。令和 3 年度は 3 回開催し、84 人が受講した。

① 鍾乳石に記録された地球の気候変動

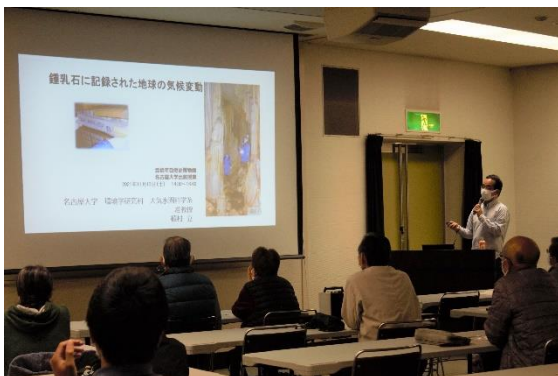
講 師：植村 立 (名古屋大学大学院環境学
研究科准教授)

期 日：令和 3 年 11 月 13 日 (土)

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：26 人

内 容：洞窟の鍾乳石と南極の氷の分析から明らかになった地球の気候変動の研究について紹介。



② 太古の海の光る森

講 師：別所上原 学 (名古屋大学高等研究
院特任助教)

期 日：令和 3 年 11 月 20 日 (土)

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：23 人

内 容：深海に広がる発光生物の世界について、最近発見された光るサンゴを中心に紹介。



③ 三河にハワイが？ - 2 億年前の海洋島 -

講 師：東田和弘 (名古屋大学博物館准教授)

期 日：令和 3 年 11 月 21 日 (日)

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：35 人

内 容：石巻山と蔵王山から見つかった化石から明らかになった東三河の地質について紹介。



(8) 総合動植物公園関連イベント

1) ナイト ZOO

のんまいパークのナイト ZOO において、「ナイトミュージアム」を開催し、特別企画展の夜間観覧を行った。

開催期日：7 月 22 日 (木・祝) ~ 25 日 (日)・

30日(金)・31日(土)、8月の金・土・日・祝日及びお盆期間(8月9日(月)～12日(木))、9月の土・日・祝日(8月12日、13日、14日、21日及び8月27日以降は中止)

開催時間：17：00～21：00

日中の開館時間：9：00～16：00

①ナイトミュージアム

常設展の照明を全て落とし、懐中電灯を持って館内を探検できるイベントを開催した。

参加費：小学生以上 100円

回数：16回

参加者数：7,513人

②新・ナイトZOO探検キット

動物園と自然史博物館を回りキーワードを集めるラリーイベントを開催した。

参加費：500円

定員：各日500名

③特別企画展「地球は昆虫であふれている」

ナイトZOOでは特別企画展をお得な料金で観覧できるようにした。

観覧料：大人・小中学生100円

ナイトZOO期間中の特別企画展観覧者(人)

	大人	小・中学生	無料	計
7月	604	231	281	1,116
8月	1,025	358	416	1,799
計	1,629	589	697	2,915

(9) 第17回自然史博物館自由研究展

生物や地学をテーマにした市内の小・中学生の優れた自由研究作品を表彰・展示するため、平成17年度から開催。賞の選考は、児童・生徒が夏休みの課題として学校に提出した自由研究の中から優秀作品を各校が選出(学校規模により各校3～4点)。それを自然史博物館の学芸員と市内小中学校教員から構成される研究

委員会の審査により各賞を選考する。

開催期間：令和3年11月6日(土)～11月28日(日)

表彰式・優秀作品発表会：令和3年11月6日(土)13：00～

会場：イントロホール、自然史スクエア他
応募総数：203点(小学校52校147点、中学校20校56点)

※市内小中学校各校から3点以内を選抜して応募。ただし小学校24クラス以上、中学校18クラス以上の場合は4作品以内とした。



<入賞作品>

○最優秀賞

【小学生】

豊小学校 6年 鈴木朱音

「アリの研究Part 4 最強アリクッキー作りへの挑戦」

【中学生】

二川中学校 2年 石川春果

「植物の発根の観察実験 PART6 シロツメクサの茎が発根に及ぼす影響」

○優秀賞

【小学生】

栄小学校 4年 松尾篤樹

「カタバミの観察～カタバミを全滅させることはできるのか?～」

多米小学校 6年 根木遙花

「土から絵の具を作ろう！私と郷土の大研究
～土の質感と色の関係～」

【中学生】

東陽中学校 3年 小林伸輝
「根と葉について 5 ～頂芽優勢と植物ホルモ
ン～」
南陽中学校 2年 伊奈稜一郎
「続・ニホンイシガメの生態“保全に向けて”」

○奨励賞

【小学生】

鷹丘小学校 5年 村田愛莉
「メダカをはやくふ化させるには？」
旭小学校 4年 古田純希
「セミの不思議4～セミの羽化する場所～」
牟呂小学校 6年 大倉 凜
「豊川の浅せや水たまりにいる生き物を調べ
てみました（4年目）」
二川南小学校 5年 紅林琉奈
「アメンボはどこでもうかべるの？」

【中学生】

青陵中学校 2年 森田 圭
「「ミニトンボ池」を造ってみたら！Part 2」
本郷中学校 1年 太田篤志
「みんなシロスジコガネって知ってる？」
羽田中学校 2年 市川ひとみ
「アリの研究」
二川中学校 1年 村松歩果
「植物が水を吸い上げる仕組みを調べる」

○入選

【小学生】

石巻小学校 5年 一木暖友
「住宅に飛んでくるクワガタ、カブトムシの数」
向山小学校 4年 中西 輝
「そばの成長におけるりん酸の効果 ～りん酸
の役割は「花肥え・実肥え」だけ？～」
老津小学校 5年 白谷瑠皇
「砂浜の色の不思議」

芦原小学校 5年 稲田 凌

「オカヤドカリⅢ」

旭小学校 4年 古田真志

「アゲハの研究 2 ～キアゲハのうんちと育ち
方～」

新川小学校 6年 黒田知花

「大空へ飛び立て！～ツバメの観察日記 Part3
～」

高根小学校 3年 吉田詩野

「ダンゴムシ VS ワラジムシ」

福岡小学校 5年 伊藤伶菜

「野菜やフルーツで紙を作ってみよう」

中野小学校 6年 内藤佑磨

「ツルレイシの観察パート3」

つつじ小学校 4年 一田昌真

「家とベランダにある化石」

大清水小学校 5年 細田雄仁

「豊橋シダ植物MAP」

【中学生】

東陽中学校 1年 鈴木小葉

「野菜・果物の不思議 ～野菜・果物で火は起こ
せるの～」

豊岡中学校 3年 杉浦圭哉

「身近なバイタルの変化」～今、話題のサチ
ュレーションとは～」

中部中学校 1年 川中美空

「コケ植物」



(10) 自由研究相談

開催期間：夏休み期間

内 容：事前申込みを受けた小・中学生を対

象に担当分野の学芸員が自由研究のテーマや方法について指導。

参加者：32件67人
(内訳)

分野	件数	人数
化石	7	27
岩石	9	18
昆虫	9	9
貝類	2	6
脊椎動物	5	10
テーマ未定	1	1
計※	33	71

※複数分野にまたがる質問があったため、集計すると実際の件数、人数より多くなっている。

(11) 市民からの質問等対応

自然史博物館では、来館、電話、メール等による市民からの質問等について学芸員が対応している。令和3年度の内訳は以下のとおり。

分野	件数	備考
化石	5	
岩石	5	
貝類	16	
脊椎動物	1	
植物	2	
その他	2	甲殻類2

(12) 小中高等学校等の学習支援

1) 標本貸出セット

自然史博物館では、平成16年度より「標本貸出セット」を整備し、学校等への貸出を行っている。内容は、以下の5つで、それぞれラベルや解説などの資料も添付している。館外貸出は原則、市内小中学校とし、館内での利用は子どもを主体とする1クラス程度までの団体としている。また、学芸員が行う出前授業などにも積極的に利用している。令和3年度の館外貸出は9団体1,240人、館内利用は7団体474人であった。

化石：古生代から新生代の化石(10セット)、化石レプリカ製作用型4種(20セット)

脊椎動物：肉食と草食動物の頭骨標本3種(10セット)、ネコ全身骨格標本(1セット)、動物の歯レプリカ製作用型(20セット)

ドングリ：ブナ科植物6種のさく葉および堅果標本

昆虫：昆虫標本3種(5セット)、国語の教科書に登場する昆虫(3セット)

岩石：東三河地域の堆積岩10種(10セット)、豊川流域の岩石10種(5セット)、火山灰観察セット(1セット)

標本貸出セット実績① 館外貸出

期間	利用者	内容	人数
5/22-6/5	岡崎市立翔南中学校	ネコ・ウサギ頭骨 10 セット・イノシシ頭骨	196
6/6-11	豊川市立西部中学校	ネコ・ウサギ頭骨 9 セット	200
8/15-21	松葉小学校	化石レプリカ製作用型 4 種 20 セット	200
9/15-22	岩田小学校	ドングリの木のさく葉及び堅果標本 5 セット	132
9/29-10/13	福岡小学校	ドングリの木のさく葉及び堅果標本 5 セット	101
10/5-13	杉山小学校	豊川流域の岩石 10 種 5 セット	46
10/26-29	天伯小学校	火山灰セット 1 セット	25
1/25-2/2	羽田小学校	国語の教科書に登場する昆虫 1 点	160
3/2-9	本郷中学校	国語の教科書に登場する昆虫 1 点	180

標本貸出セット実績② 館内利用（出前授業など学芸員が館外で解説に使用したものも含む）

期日	利用者	内容	人数
10/7	下地小学校	東三河地域の堆積岩 10 セット・火山灰 1 セット	60
10/26	下地小学校	ネコ・ウサギ頭骨 10 セット	47
11/2	西郷小学校	ネコ・ウサギ頭骨 10 セット	19
11/24	二川小学校	東三河地域の堆積岩 7 セット・火山灰 1 セット	77
12/1	細谷小学校	東三河地域の堆積岩 7 セット・火山灰 1 セット	7
12/8	豊小学校	ネコ・ウサギ頭骨 10 セット	76
1/22	まちなか活性化	化石レプリカ製作用型（4 種） 5 セット	188

2) 職場体験学習等

中学校2年生を対象に行われる職業体験学習として1校から1人を受入れた。博物館の業務概要及び学芸員の仕事について説明した。

期間	学校名	人数
10/20	豊橋市立豊城中学校	1

3) わくわく体験活動

市内の小・中学校が、教育委員会の計画に基づいて行っている学習（小学校4年生対象）の一環で、当館の見学が選択として取り入れられている。見学にあたっては、各学校で計画を立て、学習の観点をもって実施している。常設展見学のほか、希望により大型映像、特別企画展

の観覧、収蔵庫・標本処理室等の学芸員による案内も行っている。

- ・参加校数：9校
- ・参加児童数：656人

4) 高等学校・大学等の学習利用

① 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

期 日：令和3年6月23日（水）

利用者：学生・教員 21 人

内 容：博物館の見学、骨格標本、進化に関する講義。

② 人間環境大学

期 日：令和3年6月18日（金）

利用者：学生・教員 14 人
内 容：博物館の見学、昆虫に関する講義。

③愛知県高等文化連盟自然科学専門部

期 日：令和 3 年 8 月 4 日（水）
利用者：学生・教員 42 人
内 容：特別企画展の見学。

④名古屋市立向陽高等学校及

期 日：令和 3 年 8 月 18 日（木）
利用者：生徒・教員 27 人
内 容：脊椎動物の骨格に関する講義、博物館見学。

⑤専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

期 日：令和 3 年 11 月 11 日（木）
利用者：学生・教員 22 名
内 容：博物館の見学、骨格標本、進化に関する講義。

⑥人間環境大学

期 日：令和 3 年 11 月 26 日（金）
利用者：学生・教員 14 人
内 容：昆虫標本作製・同定実習。

⑦人間環境大学

期 日：令和 3 年 12 月 3 日（金）
利用者：学生・教員 14 人
内 容：昆虫標本作製・同定実習。

⑧人間環境大学

期 日：令和 3 年 12 月 10 日（金）
利用者：学生・教員 14 人
内 容：昆虫標本作製・同定実習。

⑨専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

期 日：令和 3 年 12 月 16 日（木）
利用者：学生・教員 20 名
内 容：博物館の見学、骨格標本、進化に関する講義。

5) 校外学習等

社会見学・理科学習等の校外学習を受入れ、各校の依頼に応じて講義や実習を行った。

①豊橋市立西郷小学校・賀茂小学校・合同授業

期 日：令和 3 年 10 月 20 日（水）
内 容：豊橋の地層と化石についての講義。
参加者：28 人

6) 授業・学習支援センターへの協力

子どもたちの調べ学習や教師の授業づくりをサポートするために市教育委員会学校教育課が設置している「授業・学習支援センター」の活動に協力した。自然史博物館内にも、自然科学関連の書籍が充実した図書コーナー「山福文庫」が設置されており、配架図書の選定に協力した。

(13) 博物館実習生等の受入れ

1) 令和 3 年度博物館実習

①実習生（8 人）

小田 頌子さん（東京大学）
中田 翔大さん（愛知大学）
安藤 舞花さん（名古屋造形大学）
佐藤 大義さん（琉球大学）
浅田 要さん（岐阜大学）
中木 萌瑛さん（愛媛大学）
浦野 未来さん（三重大学）
高橋 直也さん（三重大学）

②実習内容・日程

期日	内容
7/30	オリエンテーション、博物館展示概論、館内展示レクチャー、博物館資料保存概論
7/31	ワークショップ準備・補助、来館者動線調査準備・調査、植物実習
8/1	ワークショップ準備・補助、来館者動線調査準備・調査、植物実習

8/3	昆虫資料実習
8/4	ワークショップ準備・補助、貝類資料実習
8/5	ワークショップ準備・補助
8/6	来館者動線調査・まとめ・発表

2) 大学の博物館学関連実習等

①東海大学

月 日：令和3年11月4日（木）

内 容：博物館見学実習

参加者：22人

(14) 研修等の受入れ

1) 現職教員の研修等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受入れを中止した。

2) インターンシップ

①氏 名：鷺見明美さん

所 属：三谷水産高校海洋資源科3年

期 間：令和3年8月3日（火）～5日（木）

②氏 名：松岡鷹佑さん

所 属：立命館大学政策科学部3年

期 間：令和3年8月9日（月）～13日（金）

③氏 名：村松朋美さん

所 属：中京大学総合政策学部3年

期 間：令和3年8月9日（月）～13日（金）

④氏 名：原田実空さん

所 属：愛知教育大学教育学部3年

期 間：令和3年8月14日（土）～19日（木）

⑤氏 名：青山秀人さん

所 属：愛知大学文学部3年

期 間：令和3年8月14日（土）～19日（木）

⑥氏 名：安藤比菜子さん

所 属：金城学園大学国際情報学部3年

期 間：令和3年8月20日（金）～25日（水）

⑦氏 名：山口莉央さん

所 属：名古屋学院大学外国語学部3年

期 間：令和3年8月20日（金）～25日（水）

⑧氏 名：大谷総一郎さん

所 属：愛知大学法学部3年

期 間：令和3年8月26日（木）

※緊急事態宣言発令のため、1日のみ。

⑨氏 名：森田貴輝さん

所 属：日本福祉大学経営学部3年

期 間：令和3年8月26日（木）

※緊急事態宣言発令のため、1日のみ。

（※緊急事態宣言発令のため、8月27日以降のインターンシップ受入れは中止した。）

3) 教員研修等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受入れを中止した。

(15) 出版活動

令和3年度に自然史博物館が刊行した出版物は以下のとおりである。

書名・名称	版・頁	部数	発行年月日	配布先	内容等
豊橋市自然史博物館年報第33号	A4 55頁	—	R3.7.13	ホームページ PDF公開	年間活動報告
豊橋市自然史博物館資料集第28号「高桑弘氏寄贈貝類目録 2. 腹足綱 (第13分冊) イトカケマイマイ科 — カドバリコマイマイ科, 3. 多板綱, 4. 溝腹綱, 5. 掘足綱, 6. 頭足綱。」(ISSN 0919-1526)	A4 110頁	600	R4.2.25	関係機関	収蔵標本目録
豊橋市自然史博物館研究報告第32号 (ISSN 0917-1703)	A4 85頁	600	R4.3.28	関係機関	研究報告・論文

(16) 連携・共催事業等

1) 名古屋芸術大学との連携協定

平成26年度に名古屋芸術大学と締結した連携協定に基づき、令和3年度は下記の連携事業を行った。

①特別企画展 PR 用トリックアートデザイン製作

展示期間：令和3年7月2日(金)～8月31日(火)

場 所：豊橋駅東西連絡通路

内 容：デザイン領域メディアコミュニケーションデザインコースの学生が昆虫に関するトリックアートのオリジナルデザインを制作。

②博物館職員による講義

- ・小学校教員養成系科目での講義 I

期 日：令和3年6月15日(火)

場 所：名古屋芸術大学

講 師：安井謙介

- ・小学校教員養成系科目での講義 II

期 日：令和3年12月20日(月)

場 所：名古屋芸術大学

講 師：安井謙介

③ワークショップ「どこでも恐竜展」の開催

期 日：令和4年1月9日(日)

場 所：豊橋市自然史博物館

参加者数：150名

内 容：名古屋芸術大学メディアデザインコース学生による恐竜に関するワークショップの開催。

2) あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

主催：国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

※東海地方の大学、研究機関、博物館28機関が参加(2022年1月現在)

- ・夏休みあいちサイエンスフェスティバル2021期間中(令和3年7月21日～8月31日)の自然史博物館行事を参加イベントとして登録。
- ・あいちサイエンスフェスティバル2021期間中(令和3年9月25日～11月21日)の自然史博物館行事を参加イベントとして登録。
- ・「名古屋大学出前授業 in 豊橋」の開催(科学教育センターと共同開催)。

3) 企画展「干支展 寅」

協力：浜松市博物館

会場及び展示期間：

・豊橋市自然史博物館

令和3年12月18日（土）～令和4年1月16日（日）

・浜松市市民ミュージアム浜北

令和4年1月23日（日）～3月6日（日）

・浜松市博物館

令和4年3月15日（火）～5月8日（日）

4) とよはし科学月間

本市の科学教育の推進のため、11月を「とよはし科学月間」として、本市の科学教育関連施設が連携して科学に関する様々な分野の普及イベントを開催した。

期間中入館者

	期間	入館者数	備考
科学教育センター	10/30～11/30	12,671	11月のみ 10,623 人
プラネタリウム	10/30～11/30	2,303	わくわくを除く、11月のみ 1,882 人
自然史博物館	10/30～11/30	76,715	11月のみ 65,842 人
大型映像	10/30～11/30	4,071	11月のみ 3,445 人
科学教育センター・自然史博物館入館者計		89,386	

展示

会場・主催	名称	期間	期間中入館者数	備考
科学教育センター	科学捜査展	10/30～11/28	12,464	指紋、声紋等
	子どものための科学展	10/30～11/30	12,671	スケッチ、小柴賞、各団体ブース
	小学生サイエンスアイデア作品展	10/1～11/30	17,951	市内小学校 47 校、479 点
	すごい！ふしぎ！写真コンテスト作品展	10/30～11/30	12,671	応募 270 点 受賞 5 点
	小柴昌俊先生展	11/17～11/28	9,824	中央図書館
自然史博物館	自然史博物館自由研究展	11/6～11/28	65,152	表彰式 11/6
	沖縄県に漂着した軽石	11/27～12/12	36,578	
こども未来館	弱いロボット展示	11/3	375	
計			167,974	

イベント・ワークショップ・講座

会場・主催	名称	開催日	参加者数	備考
科学教育センター	科学捜査体験	10/30～ 11/28	1,951	134回 1,078組
	【視聴覚教育センター 学習教室】			合計 219人(8回)
	WS:トコ積み木	11/20	92	2回
	科学講座:誰かに教えたいくなる宇宙の話	11/28	6	1回
	科学講座:電気工作教室	10/30・ 11/20	78	4回 10月、11月分 をまとめた
	観望会:星を見る会	11/19	43	1回
	【地下資源館 学習教室】(科学捜査体験除く)			合計 845人(23回)
	WS:エアロトレイン	11/7～ 11/27	99	6回
	WS:おもしろサイエンスの日	11/28	70	1回
	WS:つくってあそぼう工作の日	11/21	40	1回
	WS:虹色万華鏡	11/23	18	1回
	WS:バルーンアート(補講)	11/27	4	1回
	WS:ブームラン飛行機	10/31・ 11/3	42	2回 10月、11月分 をまとめた
	実験:無重力のふしぎ	11/7～ 11/27	390	6回
	実験:音のふしぎ	11/3	120	1回
	出張科学教室	11/10、 11/18	39	下地小、八町小
	学習相談	11/17	3	1回
	豊橋技術科学大学出前授業 バーチャルリアリティーはもう一つの世 界?	11/21	20	1回
自然史博物館	スズメバチの巣を解体してみよう	11/20	88	
	サメのからだを調べよう	11/20	80	
	収蔵庫見学会(植物)	11/27	3	
	名古屋大学出前授業「鍾乳石に記録さ れた地球の気候変動」	11/13	26	
	名古屋大学出前授業「太古の海の光る 森」	11/20	23	

	名古屋大学出前授業「三河にハワイが？－2億年前の海洋島－」	11/21	35	
総合動植物公園・環境部	530のまち環境フェスタ	11/6	9,228	イベント参加延べ人数 15,000人
こども未来館	からくりものづくり教室	11/3	17	
	メントスコーラ実験	11/13	18	
	長い糸電話実験	11/23	15	
	一度はつくってみたい万華鏡工作	11/27	14	
計			12,562	

5) AEL ネット環境学習スタンプラリー

主 催：愛知県環境学習施設等連絡協議会
 開催期間：令和3年6月22日（火）～令和4年2月23日（水）
 内 容：来館者がスタンプを押すスタンプラリーを実施。

(17) 講師・委員の派遣等

1) 出前授業

原則として市内の小・中学生を対象に、学校からの要請を受け、学芸員を派遣し授業を行っている。令和3年度はのべ25校で39時限実施し、1,022人が受講した。

令和3年度出前授業の実施状況（時間延長した授業も1時限として集計）

No	学校名	学年	人数	タイトル	時限数	実施日	担当 学芸員
1	西郷小学校	4	19	昆虫学習会	1	5/26	長谷川
2	桜丘中学校	1	98	絶滅の危機に直面している身近な生き物について	2	6/3	長谷川
3	富士見小学校	3	62	昆虫のからだどつくり	2	6/9	長谷川
4	松葉小学校	4~6	25	木の葉化石発掘～那須塩原の原石から化石を探します～	1	7/8	一田
5	岩田小学校	1・2	67	岩田再発見！～「水神池」を守ろう大作戦～	2	9/22	坂本・稗田
6	下地小学校	6	60	大地をつくる石のはなし	2	10/7	加藤
7	岩田小学校	5	67	岩田再発見！～「水神池」を守ろう大作戦～	2	10/7	坂本・稗田
8	嵩山小学校	3	9	昆虫のからだどつくり	1	10/12	長谷川
9	嵩山小学校	1	15	身近な昆虫の観察	1	10/12	長谷川
10	栄小学校	2	113	アメリカザリガニについて	2	10/13	坂本
11	松葉小学校	4~6	20	自然観察～松葉小学校、守下公園の自然～	2	10/14	長谷川
12	松葉小学校	5	10	木の葉化石発掘～那須塩原の原石から化石を探します～	1	10/14	一田
13	松葉小学校	4~6	9	木の葉化石発掘	2	10/14	一田
14	大崎小学校	1	24	大崎の生き物がかわいいよ！	1	10/19	長谷川
15	田原市立大草小学校	3・1	30	身近な植物の観察	2	10/20	稗田
16	牟呂小学校	2	31	ダンゴムシの魅力を知ろう	1	10/21	西
17	下地小学校	4	47	ヒトの体のつくりとはたらき	2	10/26	安井
18	西郷小学校	4	19	ヒトの体のつくりとはたらき	1	11/2	安井
19	牟呂小学校	2	31	ダンゴムシの飼い方を知ろう	1	11/10	西
20	天伯小学校	6	50	天伯の大地のつくりと成り立ち	2	11/12	一田
21	二川小学校	6	77	大地をつくる石のはなし	2	11/24	加藤
22	西郷小学校	2	17	ダンゴムシの観察と育て方	1	11/25	西
23	細谷小学校	6	7	大地をつくる石のはなし	1	12/1	加藤
24	豊小学校	4	76	ヒト・動物のからだのつくりとはたらき	2	12/8	安井
25	石巻小学校	4	39	石巻自然探検隊	2	1/20	西

2) 講義・講演

No	タイトル	依頼元	期日	人数	担当学芸員
1	紡錘虫類化石に関する講演	東海化石研究会	5/9	50	一田
2	骨格標本を使用したワークショップ	名古屋芸術大学	6/15	30	安井
3	青陵さわやかセミナー「ほ乳類の骨と歯」	青陵地区市民館	6/18	10	安井
4	人間環境大学講義	人間環境大学	6/18	14	長谷川
5	脊椎動物に関する講義	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	6/23	21	安井
6	カタツムリの観察	豊川市赤塚山公園	6/27	20	西
7	のびるん de スクール「昆虫で遊ぼう」	富士見小学校	7/15	24	長谷川
8	季節講座「ティラノサウルスの歯の模型を作ろう」	刈谷市総合文化センター	8/11	12	安井
9	脊椎動物の骨格に関する講義	名古屋市立向陽高校	8/18	27	安井
10	アマモ場の貝類同定	三谷水産高校	8/26	10	西
11	地質に関する講義	東陵地区市民館	10/4	8	一田
12	特別講座「うなぎの生態について」	豊橋市天然うなぎ資源保護再生プロジェクト協議会	10/19	88	坂本
13	豊橋市天然うなぎモニタリング調査	豊橋市天然うなぎ資源保護再生プロジェクト協議会	10/20	88	坂本・西
14	鷹丘ウォーキング～地形地質岩石探検～	東陵地区市民館	10/30	8	一田
15	トヨッキースクール「昆虫博士になろう～生物多様性～」	二川校区市民館	11/4	26	長谷川
16	脊椎動物に関する講義	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	11/11	22	安井
17	遺跡から出た骨について	東海化石研究会	11/14	50	安井
18	学芸員の仕事について	名古屋市立沢上中学校	11/16	30	坂本
19	人間環境大学実習	人間環境大学	11/26	14	長谷川
20	人間環境大学実習	人間環境大学	12/3	14	長谷川
21	人間環境大学実習	人間環境大学	12/10	14	長谷川
22	豊川の石を観察する	国際芸術祭あいち 2022	12/11	6	加藤
23	脊椎動物に関する講義	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	12/16	20	安井

24	小学校「理科」における自然史博物館の利用	名古屋芸術大学	12/20	11	安井
25	まちなかアンモナイトラボ	まちなか活性課	1/22	188	一田

3) 委員等の委嘱、派遣等

①科学教育推進委員会

委員：長谷川道明

期日：令和3年5月21日（金）

令和3年6月15日（火）

場所：視聴覚教育センター

②あいちサイエンスフェスティバル 2021 実行委員会

委員：丹羽美春

期日：令和3年6月9日（水）

場所：リモート会議

出席：長谷川道明

期日：令和4年3月1日（火）

場所：リモート会議

③浜松湖西豊橋道路環境影響評価技術検討委員会

委員：長谷川道明

期日：令和3年12月16日（木）

場所：国土交通省名四国道事務所（名古屋市）

(18) ふるさと寄附（ふるさと納税）体験型返礼品

豊橋市が行っている、ふるさと寄附の体験型返礼品として、自然史博物館では、令和元年より「化石クリーニング体験」「ジオードクラック体験」を実施している。令和3年度の申込数、実施数は以下の通り。

1) 化石の調査研究を体験

「化石クリーニング体験」（受付数20件）

内容：専用の機器を使って、アンモナイトなどの化石を岩石の中から取り出す作業、クリーニングを学芸員とともに実施。クリーニングした化石は持ち帰ることができる。

※体験チケットの有効期限は1年

令和3年度申込数：20

令和3年度実施数：14

2) 鉱物の調査研究を体験

「ジオードクラック体験」（受付数20件）

内容：専用の機器を使って、学芸員の指導の下、ジオード（晶洞）を割って、中に形成された水晶を取り出す体験。晶洞は持ち帰ることができる。

※体験チケットの有効期限は1年

令和3年度申込数：20

令和3年度実施数：4

3. 調査研究活動

(1) 令和3年度博物館職員の論文業績等

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

坂本博一 (館長：魚類)

調査研究の主なテーマ

- ・三河地方の魚類相

令和3年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市内のため池におけるブルーギルの定着と在来種への影響について
- ・豊橋市内ため池における魚類生息状況
- ・愛知県で水揚げされる板鰓類
- ・愛知県近海産の深海性魚類
- ・東三河沿岸における魚類仔稚魚の食性

1) 論文

- ①西 浩孝・稗田真也・坂本博一・松岡敬二, 2022. 豊橋市の影色池と唐池で確認された淡水動物と維管束植物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 59-68.
- ②西 浩孝・安井謙介・坂本博一・松岡敬二, 2022. 愛知県田原市高松沖において底曳き網により得られた軟体動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 65-73.
- ③西 浩孝・安井謙介・坂本博一・松岡敬二, 2022. メルトガニを愛知県田原市高松沖から採集. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 75-78.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

なし

長谷川道明 (学芸専門員：昆虫)

調査研究の主なテーマ

- ・日本産カミキリムシの種分化と系統
- ・東海地方の昆虫相
- ・昆虫類の普及・教育活動・日本産カミキリムシの種分化と系統

令和3年度の調査研究テーマ

- ・ツシマゴマフチビカミキリの属所属について
- ・紀伊半島で得られた *Mesosella* 属の不明種

- ・ *Asaperda* 属の分類学的再検討

- ・愛知県のエンマムシ科甲虫について

- ・特別企画展解説書「地球は昆虫であふれている」に関する効果的展示

1) 論文

- ①長谷川道明・戸田尚希・荻野典子, 2022. 愛知県におけるツヤハダゴマダラカミキリの発見と侵入状況. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 35-40.
- ②戸田尚希・長谷川道明・大野友豪・蟹江昇, 2021. 愛知県の甲虫目録7(2) (エンマムシ科-エンマムシ亜科, アリヅカエンマムシ亜科). 佳香蝶, 73(286): 33-46.
- ③大野友豪・戸田尚希・長谷川道明・蟹江昇, 2021. 愛知県の甲虫目録8 (ゴミムシダマシ科: キノコゴミムシダマシ亜科: キノコゴミムシダマシ族). 佳香蝶, 73(287): 77-95.
- ④戸田尚希・長谷川道明・春田祥博・安居義高・中村俊雄・大野友豪・蟹江昇, 2022. 愛知県の甲虫目録9 (コガネムシ科: ニセマグソコガネ亜科, マグソコガネ亜科). 佳香蝶, 74(289): 1-19.

2) 普及書等

- ①長谷川道明, 2021. 豊橋市自然史博物館第35回特別企画展「地球は昆虫であふれている」展示解説書. 豊橋市自然史博物館, 豊橋, 40 pp.

3) 学会発表等

なし

加藤千茶子 (主任学芸員：岩石・鉱物)

調査研究の主なテーマ

- ・郷土の鉱物岩石相
- ・東三河ジオパーク構想に関する普及事業の開発

令和3年度の調査研究テーマ

- ・豊川流域の岩石分布について
- ・東三河地域のジオサイト候補地調査及びカルテの作成
- ・ジオサイト候補地及びジオパーク構想の普及事業の開発

・高校やジオガイドと連携したジオパーク教育プログラムの開発

1) 論文

なし

2) 普及書等

①豊橋市文化財センター(編). 2022. 公式ガイドブック「歩いて楽しむ吉田城」. 豊橋市, 31-34.

3) 学会発表等

①加藤千茶子・加藤貞亨・西村拓真, 2021. ポスターで見る「東三河のいちおし!」とジオ. 第11回日本ジオパーク全国大会. 2021年10月3日, ポスター発表

②加藤千茶子, 2021. 東三河ジオパーク構想におけるジオサイト調査ー持続可能なジオサイトの保全保護をめざしてー. 第11回日本ジオパーク全国大会. 2021年10月4~5日, ポスター発表

③加藤千茶子・加藤貞亨・西村拓真, 2021. 東三河ジオパーク構想における取り組みー持続可能な地域づくりをめざしてー. 第11回日本ジオパーク全国大会. 2021年10月3日, ポスター発表

安井謙介 (主任学芸員: 脊椎動物)

調査研究の主なテーマ

- ・日本列島の哺乳動物相の変遷史
- ・豊橋周辺の遺跡産出動物遺体の動物考古学的研究
- ・現生脊椎動物の比較形態学的研究
- ・ストランディング及び海洋漂着物に関する研究
- ・展示・教育普及活動のオリジナルプログラム開発

令和3年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市周辺から産出する更新世哺乳類化石について
- ・蜆塚貝塚産出の動物遺体について
- ・渥美半島にストランディングする脊椎動物に関する基礎的調査
- ・日本沿岸の漂着物の動向に関する基礎的研究

・東三河地方で得られた脊椎動物資料に関する市民への情報発信

・モロッコ産恐竜化石発掘調査とその展示に向けての基礎的研究

1) 論文

①安井謙介, 2021. A区SK-70から出土した動物遺存体について. 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第154集 吉田城址 (XVII) : 36-37.

②安井謙介, 2022. 橋良遺跡第11次調査にて採集された脊椎動物遺存体について. 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第156集 市内埋蔵文化財発掘調査IVー平成26~28年度ー : 24.

③安井謙介・楠橋直・脇山涼輔, 2022. 浜松市博物館所蔵の蜆塚遺跡試掘時及び第二次・第三次発掘時出土の脊椎動物遺存体目録. 浜松市博物館報, (34) : 7-13.

④西浩孝・安井謙介・坂本博一・松岡敬二, 2022. 愛知県田原市高松沖において底曳き網により得られた軟体動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 65-73.

⑤西浩孝・安井謙介・坂本博一・松岡敬二, 2022. メルトガニを愛知県田原市高松沖から採集. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 75-78.

2) 普及書等

①安井謙介, 2021. 或る博物館学芸員のたわい無話 (77). 「新年度を迎えて」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 553 : 5.

②安井謙介, 2021. 或る博物館学芸員のたわい無話 (78). 「癒しの一冊」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 554 : 5.

③安井謙介, 2021. 或る博物館学芸員のたわい無話 (79). 「神風よ、吹け!」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 555 : 5.

④安井謙介, 2021. 或る博物館学芸員のたわい無話 (80). 「光陰矢の如し」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 556 : 5.

⑤安井謙介, 2021. 或る博物館学芸員のたわい無話 (81). 「白昼夢」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 557 : 5.

⑥安井謙介, 2021. 或る博物館学芸員のたわい無

い話 (82). 「それでも集めます」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), 558 : 5.

⑦安井謙介, 2021. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (83). 「今度はカメ」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), 559 : 5.

⑧安井謙介, 2021. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (84). 「訃報に接して」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), 560 : 5.

⑨安井謙介, 2021. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (85). 「寅年を迎えるにあたり」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), 561 : 5.

⑩安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (86). 「巣の化石」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), 562 : 5.

⑪安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (87). 「今だからこそその楽しみ」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), 563 : 5.

⑫安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (88). 「舌」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), 564 : 5.

3) 学会発表等

①安井謙介, 2021. お隣は動物園! 豊橋市自然史博物館の収蔵庫。口頭発表 (自由集会)。日本鳥学会 2021 年度大会。9 月 17-20 日, オンライン。

②安井謙介, 2022. 豊橋市自然史博物館での脊椎動物分野の標本収集について。口頭発表。かながわ鳥獣標本の作製技術情報交換会第 6 回研修会。1 月 22 日, オンライン。

③安井謙介, 2021. 遺跡出土の骨から分かること。口頭発表。東海化石研究会 11 月例会。11 月 14 日, 荒木集成館。

西 浩孝 (学芸員: 貝類)

調査研究の主なテーマ

- ・陸産貝類の形態の多様化と系統分類
- ・中部地方の貝類相
- ・三河地方の無脊椎動物相
- ・博物館資料の情報公開

令和 3 年度の調査研究テーマ

- ・ニシキマイマイの殻形態変異と分子系統 (英文)
- ・オモイガケナマイマイの形態変異
- ・東海地方の干潟における希少貝類の生息状況
- ・愛知県のウミウシ相
- ・豊橋市周辺のため池における淡水生貝類の生息状況
- ・三河地方の無脊椎動物相
- ・高桑 弘氏寄贈貝類目録の作成

1) 論文

①早瀬善正・木村昭一・岩田明久・西 浩孝, 2021. 茶臼山山頂部周辺 (愛知県豊根村) で確認された陸産貝類。日本貝類学会特別出版物, (5) : 77-132.

②早瀬善正・木村昭一・西 浩孝・浅田 要, 2021. 篠島 (三河湾) の岩礁・転石地潮間帯の貝類相。日本貝類学会特別出版物, (5) : 133-150.

③柏尾 翔・西 浩孝・浅田 要, 2021. 篠島 (愛知県知多郡南知多町) 潮間帯のウミウシ類。日本貝類学会特別出版物, (5) : 151-161.

④早瀬善正・西 浩孝・岩田明久・浅田 要・木村昭一, 2021. 愛知県美浜町野間と小野浦地先 (伊勢湾) の潮間帯貝類相。かきつばた, (46) : 1-13.

⑤早瀬善正・木村昭一・西 浩孝・守谷茂樹・岩田明久・浅田 要, 2021. 嵩山町石灰岩地 (愛知県豊橋市) の陸・淡水産貝類相。かきつばた, (46) : 20-35.

⑥西 浩孝・田中健太郎, 2021. 愛知県犬山市と岡崎市におけるカタマメマイマイの新産地。かきつばた, (46) : 47-48.

⑦浅田 要・締次美穂・西 浩孝, 2021. 愛知県南知多町篠島で発見された甲殻類 2 種の記録。南紀生物, 63(2) : 194-196.

⑧西 浩孝, 2022. 高桑弘氏寄贈貝類目録 2. 腹足綱 (第 13 分冊) イトカケマイマイ科—カドバリコマイマイ科, 3. 多板綱, 4. 溝腹綱, 5. 掘足綱, 6. 頭足綱。豊橋市自然史博物館資料集, (28) : 1-109.

⑨西 浩孝・稗田真也・坂本博一・松岡敬二, 2022. 豊橋市の影色池と唐池で確認された淡水動物

と維管束植物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 59–68.

⑩西 浩孝・安井謙介・坂本博一・松岡敬二, 2022. 愛知県田原市高松沖において底曳き網により得られた軟体動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 65–73.

⑪西 浩孝・安井謙介・坂本博一・松岡敬二, 2022. メルトガニを愛知県田原市高松沖から採集. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 75–78.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

①西 浩孝, 2022. 底曳き網によって得られた軟体動物. 名古屋貝類談話会. 2022年1月23日, 名古屋市.

一田昌宏 (学芸員 : 古生物)

調査研究の主なテーマ

- ・飛騨外縁帯及び黒瀬川帯産出化石の古生物学的研究
- ・付加体及び付加体中の微化石に関する研究
- ・収蔵資料の効果的な利用に資するシステムの構築
- ・異常巻紡錘虫の生態学的研究

令和3年度の調査研究テーマ

- ・一の谷より産出した珪化紡錘虫類 *Hidaella* の3D解析
- ・滋賀県多賀町権現谷の珪化化石の3D解析
- ・ジュラ紀付加体中の重力流起源の炭酸塩堆積物 (岐阜県、静岡県)
- ・化石標本のリスト化及び収蔵庫2内での電子地図作製
- ・収蔵用コンテナ及び資料箱のサイズの多様化と収蔵空間の節約
- ・*Nipponitella* の生息姿勢及び堆積環境推定

1) 論文

①一田昌宏, 2021. X線CT-Scanを用いた炭酸塩岩に含まれる紡錘虫類化石の殻構造の三次元可視化. 2020年度九州シンクロトロン光研究センター 県有ビームライン利用報告書.

https://www.saga-ls.jp/site_files/file/Publication/Experiment%20Report/2020/F/2004026F_ichida.pdf (2021年12月7日閲覧).

②一田昌宏, 2021. 全国科学博物館振興財団令和2年度助成事業報告書, 課題名: 調査研究活動と教育普及活動の連携強化～研究を体感する体験型ワークショップの開催～, 課題番号: 20008

https://www.zenkashin.org/cabinet/?action=cabinet_action_main_download&block_id=59&room_id=1&cabinet_id=4&file_id=315&upload_id=1040 (2021年12月7日閲覧).

③師崎層群深海魚化石の3Dデータ化, 2022. 林常善 (編) 師崎層群深海生物発掘団発掘調査報告書, p. 48.

2) 普及書等

①一田昌宏, 2021. とてつもなく保存の良い化石. 株式会社ニュートラルコーポレーション (編) 巡回展「ポケモン化石博物館」図録. p. 72, 株式会社ニュートラルコーポレーション.

3) 学会発表等

①一田昌宏, 2021. 生き物及び砂粒としてみた紡錘虫類 (“フズリナ類”) ～紡錘虫類の古生態、タフォノミー、研究史～. 東海化石研究会第609回例会 (2021年5月9日), 名古屋.

②大路樹生・吉田英一・前田晴良・森 勇一・蜂矢喜一郎・水野吉昭・田中源吾・田中里志・山田敏弘・奈良正和・内田臣一・星 博幸・氏原温・齊藤毅・川瀬基弘・子安和弘・加藤 萌・村宮悠介・山岡雅俊・安藤佑介・一田昌宏・宇佐美徹・林 常喜・牧口貴久・市村駿汰, 2022. 下部中新統師崎層群の深海動物化石発掘調査. 日本古生物学会第171回例会, 名古屋.

稗田真也 (学芸員 : 植物)

調査研究の主なテーマ

- ・東三河地方の在来植物相と地域植物誌
- ・アカバナ科植物の多様性
- ・日本の外来植物相

- ・侵略的外来種の生活史・管理についての研究
令和3年度の調査研究テーマ
- ・地域の植物相・植物誌調査
- ・ミズキンバイ節植物の多様性
- ・ヒガタアシなど早期防除調査

1) 論文

- ① Kamigawara K, Hieda S, Renals T, 2021. Legislation to Manage Invasive Alien Plants in England: What is the Meaning of 'Landowner Responsibility'? In: Boeve M, Akerboom S, Backes C, van Rijswijk M (eds.) Environmental Law for Transitions to Sustainability. European Environmental Law Forum Series, Volume 7, 251–264, Intersentia, Cambridge.
- ② 稗田真也, 2021. 侵略的外来水生植物ウスゲオオバナミズキンバイの同定と生活史特性. 用水と廃水, 63(7) : 510–515.
- ③ 上河原献二・稗田真也, 2021. 侵略的外来生物管理法制度の発展—フランス・イングランドとの比較—. 用水と廃水, 63(7) : 528–533.
- ④ 三浦励一・稗田真也・藤井伸二, 2021. ムサシモ *Najas ancistrocarpa* (トチカガミ科) を琵琶湖から見いだす. 水草研究会誌, (111) : 45–48.
- ⑤ 山中麻帆・奥 美沙紀・稗田真也・小林大輝・平山琢二・野間直彦・中川敏法, 2022. パウチ法を用いてリンゴ酸添加でサイレージ調製した特定外来生物ウスゲオオバナミズキンバイ (*Ludwigia grandiflora* subsp. *hexapetala*) の発酵品質. 日本畜産環境学会会誌, 21(1): http://apesj.jpn.org/DL/Vol21/Yamanaka_20211201_In_Press.pdf
- ⑥ 稗田真也, 2022. 琵琶湖における特定外来生物ウスゲオオバナミズキンバイの侵入・繁茂について. 日本生態学会誌, 72(1) : 35–39.
- ⑦ 西 浩孝・稗田真也・坂本博一・松岡敬二, 2022. 豊橋市の影色池と唐池で確認された淡水動物と維管束植物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 59–68.

2) 普及書等

- ① 稗田真也, 2021. 水辺をお花畑に変える侵略的外来水生植物. In : 小野雅弘・創元社 (編) 特別展「植物 地球を支える仲間たち」公式ガイドブック. pp.152–153. NHK, NHK プロモーション, 朝日新聞社.

3) 学会発表等

- ① 中井克樹・林 紀男・横川昌史・嶺田拓也・日鷹一雅・上河原献二・野間直彦・伊藤彩乃・稗田真也. 特定外来生物指定の水陸両生外来植物オオバナミズキンバイの国内における分布と防除対策の現状. 応用生態工学会第24回札幌大会, 2021年9月24日, 口頭発表.
- ② 稗田真也・野間直彦・中井克樹・上河原献二. 特定外来生物オオバナミズキンバイの生物学的特性・駆除・管理制度について. 日本雑草学会 外来植物モニタリング研究部会 シンポジウム 地域フロラ研究と外来植物の侵入・管理の最前線—東海地域を舞台に—. 2021年10月23日, 口頭発表.

丹羽美春

1) 論文

- ① 丹羽美春, 2022. 愛知県東菌目地域から産出したアンチモン鉱物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (32) : 51–54.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

なし

(2) 学会、研究会等への参加

※ジオパーク関連のものは別途掲載

- ① 日本貝類学会令和3年度大会
期 日 : 令和3年5月22日(土)～23日(日)
場 所 : オンライン開催
参加職員 : 西 浩孝
- ② 日本地質学会 2021 名古屋大会

- 期 日：令和3年9月4日(土)～6日(月)
場 所：オンライン開催
参加職員：加藤千茶子、丹羽美春
- ③日本鉱物科学会 2020 年年会
期 日：令和3年9月17日(金)～18日(土)
場 所：オンライン開催
参加職員：加藤千茶子、丹羽美春
- ④日本鳥学会 2021 年度大会
期 日：令和3年9月18日(土)
場 所：オンライン開催
参加職員：安井謙介
- ⑤2021 年度日本魚類学会年会
期 日：令和3年9月18日(土)～19日(日)
場 所：オンライン開催
参加職員：坂本博一
- ⑥漂着物学会創立 20 周年記念大会
期 日：令和3年10月16日(土)
場 所：オンライン開催
参加職員：西 浩孝
- ⑦日本雑草学会外来植物モニタリング研究部会シンポジウム
期 日：令和3年10月23日(土)
場 所：オンライン開催
参加職員：稗田真也
- ⑧日本甲虫学会第 11 回大会
期 日：令和3年12月4日(土)～5日(日)
場 所：オンライン開催
参加職員：長谷川道明
- ⑨板鰓類シンポジウム 2021
期 日：令和3年12月17日(金)
場 所：オンライン開催
- 参加職員：坂本博一
- ⑩かながわ鳥獣標本の作製技術情報交換会第 6 回研修会
期 日：令和4年1月22日(土)
場 所：オンライン開催
参加職員：安井謙介
- ⑪日本植物分類学会第 21 回神奈川大会
期 日：令和4年3月3日(木)～6日(日)
場 所：オンライン開催
参加職員：稗田真也
- (3) 調査研究に係る出張**
(※公務による県外出張のみを掲載)
- ①貝類系統解析用調査
期 日：令和3年6月29日(火)～7月1日(木)
場 所：群馬県、埼玉県
出張者：西 浩孝
- ②侵略的外来種の早期防除調査
期 日：令和3年8月25日(水)～26日(木)
場 所：滋賀県大津市・草津市ほか
出張者：稗田真也
- ③琵琶湖南湖における水草の分布調査(外部研究費)
期 日：令和3年9月28日(火)
場 所：滋賀県草津市ほか
出張者：稗田真也
- ④漂着物調査
期 日：令和3年11月16日(日)～22日(月)
場 所：沖縄県那覇市ほか
出張者：安井謙介
- ① 令和5年度特別企画展準備調査
期 日：令和3年11月28日(日)～30日

(火)

場 所：和歌山県太地町、那智勝浦町

出張者：安井謙介

② 侵略的外来水生植物管理調査（外部研究費）

期 日：令和3年12月1日（水）～3日（金）

場 所：東京都新宿御苑、千葉県印旛沼

出張者：稗田真也

(4) 外部研究資金助成等の獲得

①公益財団法人深田地質研究所2020年度「深田地質助成」

研究分担者：一田昌宏

研究課題名：カニ化石による南大東島地史の復元～世界初の特異な海底洞窟性

十脚類化石群集の解明～

助成額：500,000円

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による繰り越し

②科学研究費助成事業 基盤研究（C）

研究分担者：一田昌宏

研究課題名：世界初・太平洋域最古の化石群から探る改定洞窟生物群の起源と消長

助成額：4,200,000円

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による繰り越し

4. 資料の収集・保管活動

(1) 採集資料

採集年月日	場所	採集資料名	採集者	数量
《岩石・鉱物》				
2021.11.20	沖縄県国頭郡東村	軽石	安井謙介	20
2021.11.30	和歌山県那智勝浦町	スコリア	安井謙介	2
《植物》				
2020.10.21 2020.11.19	豊橋市雲谷町・二川町	ため池の植物	稗田真也	5
《貝類》				
2020.10.21	豊橋市雲谷町	淡水産貝類	西 浩孝	14
2020.12.21	田原市高松沖	高松沖底引き網資料	西 浩孝	84
2021.02.22	田原市高松沖	高松沖底引き網資料	西 浩孝	52
2021.06.23	西尾市一色町	ウミウシ	西 浩孝	16
2021.06.27	豊川市市田町	陸産貝類	西 浩孝	3
2021.06.29	群馬県多野郡神流町	陸産貝類	西 浩孝	14
2021.06.30	埼玉県秩父郡小鹿野町	陸産貝類	西 浩孝	11
2021.08.03	田原市六連町	海産貝類	西 浩孝	14
2021.08.05	新城市作手	淡水産貝類	西 浩孝	3
2021.11.05	豊橋市中原町	陸・淡水産貝類	西 浩孝	18
2021.12.03	豊橋市三弥町	淡水産貝類	西 浩孝	33
《甲殻類》				
2020.12.21	田原市高松沖	高松沖底引き網資料	西 浩孝	29
2021.02.22	田原市高松沖	高松沖底引き網資料	西 浩孝	5
2021.10.06	田原市小塩津町	フジツボ	西 浩孝	2
2021.11.05	豊橋市中原町	テナガエビ	西 浩孝	1
2021.12.03	豊橋市三弥町	アメリカザリガニ	西 浩孝	1
《無脊椎動物》				
2020.12.21	田原市高松沖	高松沖底引き網資料	西 浩孝	4
2021.02.22	田原市高松沖	高松沖底引き網資料	西 浩孝	5
2021.11.05	豊橋市中原町	コケムシ	松岡敬二	2
2021.11.21	沖縄県国頭郡国頭村	ハマトビムシ	安井謙介	14
2021.12.03	豊橋市三弥町	コケムシ・カイメン	西 浩孝	2
《魚類》				
2021.10.07	豊橋市岩田町	ブルーギル	坂本博一	2
《爬虫類》				
2021.10.06	田原市小塩津町	オサガメ	安井謙介・西 浩孝	1

《鳥類》				
2021.04.23	田原市六連町	カンムリカイツブリ	安井謙介	1
2021.07.03	豊橋市大岩町	カワウ	安井謙介	1
2021.08.29	豊橋市大岩町	カワセミ	安井謙介	1
《哺乳類》				
2021.08.20	田原市小塩津町	コマッコウ	安井謙介	1
2022.03.15	豊橋市西七根町	スジイルカ	安井謙介	1

(2) 寄贈資料

《岩石・鉱物》				
方解石		一田昌宏	2021.10.12	1
黒曜石・メノウ		野嶋宏二	2021.12.15	3
胆石		佐藤友代	2021.12.25	1
コハク・水晶等		東田校区市民館	2021.12.27	4
ロウ石・ジャスパー		福田喜代子	2022.01.20	2
《植物》				
植物標本		瀧崎吉伸	2022.03.31	100
《貝類》				
陸産貝類 (茶臼山産)		西 浩孝	2021.04.01	37
陸産貝類 (茶臼山産)		西 浩孝	2021.04.01	19
ウミウシ		西 浩孝	2021.04.27	16
ウミウシ (三河湾産)		西 浩孝	2021.04.01	3
淡水産貝類		西 浩孝	2021.04.01	24
陸産貝類 (豊橋市岩崎町産)		西 浩孝	2021.04.01	7
ムラサキガイ		北河範枝	2021.04.01	1
海産貝類		西 浩孝	2021.04.01	20
海産貝類		西 浩孝	2021.06.01	19
海産貝類 (南知多町産)		西 浩孝	2021.06.15	7
海産貝類		西 浩孝	2021.08.08	5
ムラサキガイ		鈴木優奈	2021.08.11	2
海産貝類		西 浩孝	2021.08.11	25
海産貝類		西 浩孝	2021.08.28	50
海産貝類		西 浩孝	2021.08.31	7
海産貝類		西 浩孝	2021.09.08	18
汽水産貝類		西 浩孝	2021.09.08	19
淡水産貝類		西 浩孝	2021.11.02	2
陸・淡水産貝類		西 浩孝	2021.11.29	3
貝類標本		福田喜代子	2022.01.19	2,117

《甲殻類》			
シロピンノ属の一種	西 浩孝	2021.04.01	1
ヤドカリノハラヤドリ類	西 浩孝	2021.06.01	2
オサガニ	西 浩孝	2021.08.08	2
淡水産甲殻類	西 浩孝	2022.01.10	4
甲殻類	西 浩孝	2022.01.24	2
甲殻類	西 浩孝	2022.02.03	1
甲殻類	西 浩孝	2022.03.06	2
甲殻類	西 浩孝	2022.03.08	2
《昆虫》			
アカボシゴマダラ	太田佳伸	2021.05.27	1
ルリゴキブリ類	柳澤静磨	2021.06.04	7
葦毛湿原産ギフチョウほか	伊藤年秀	2021.06.17	42
カタツムリトビケラ	西 浩孝	2021.11.23	10
ケブカケシカタビロアメンボ	森井隆久	2021.11.23	11
キバネツノトンボ類	植村好延	2021.12.02	27
クロマダラソテツシジミ	小鹿 亨	2021.12.09	5
セミ類	株式会社サガミ	2021.12.16	161
ハナムグリ類	株式会社サガミ	2021.12.16	729
昆虫類	白井昌子	2022.02.18	27,000
センタウミアメンボ・ツヤウミアメンボ	澤田宗一郎	2022.02.22	5
《無脊椎動物》			
オカメブンブク	西 浩孝	2021.04.01	1
プラナリア	西 浩孝	2022.01.02	1
ミズダニ類	西 浩孝	2022.03.06	1
ヒラムシ類	西 浩孝	2022.02.03	1
《魚類》			
ナスカザメ卵殻	表浜ネットワーク	2021.06.09	1
《鳥類》			
コウノトリ	愛知県環境局自然環境課	2021.04.03	1
ハクセキレイ	武田芳男	2021.04.07	1
鳥類	豊橋総合動植物公園	2021.04.25	12
ノスリ	愛知県環境局自然環境課	2021.04.30	1
チュウシャクシギ	藤岡エリ子	2021.05.03	1
ミゾゴイ	藤岡エリ子	2021.05.09	1
鳥類	渡辺幸久	2021.07.28	18
ゴイサギ (ホシゴイ)	今井尚子	2021.08.05	1

鳥類本剥製	中神かおる	2021.09.02	13
アカショウビン	佐藤恵子・佐藤 実	2021.09.16	1
トウネン	藤岡エリ子	2021.09.23	1
コウノトリ	田原市教育委員会	2021.10.27	1
ヒドリガモ	武田芳男	2021.12.09	1
シロエリオオハム	藤岡エリ子	2022.02.24	1
フクロウ	愛知県環境局自然環境課	2022.03.04	1
《哺乳類》			
エゾジカ頭蓋骨	岩崎学園	2021.06.03	1
コウベモグラ・アナグマ	渡辺幸久	2021.07.28	2
シフゾウ落角	熊本市動植物園	2021.09.02	2
ツキノワグマ頭骨	美沢佑紀	2021.10.16	5
キョン	美沢佑紀	2022.02.08	1
シベリアイタチ	山口恵子・温子	2022.02.23	1
シベリアイタチ	山口恵子・温子	2022.02.28	1
シベリアイタチ	山口恵子・温子	2022.03.10	1

(3) 収蔵資料状況

(令和4年3月31日現在)

区分	記号	令和3年度 受入点数	令和3年度 登録点数	登録資料	未登録資料	登録・未登 録資料合計
古生物部門	TMNH	0	281	11,241	56,633	67,874
岩石・鉱物部門	TMNH-R	33	313	5,003	4,000	9,003
植物部門	TMNH-B	105	105	16,507	17,935	34,442
動物部門		30,824	9,536	80,975	393,419	474,394
その他 (民芸品等)		0	0	0	6	6
計		30,962	10,235	113,726	471,993	585,719
(動物部門内訳)						
貝類	TMNH-MO	2,663	7,548	45,386	142,718	188,104
甲殻類	TMNH-C	54	31	104	1,886	1,990
昆虫類	TMNH-I	27,998	1,871	31,417	245,925	277,342
その他の無脊椎動物	TMNH-IV	31	2	78	774	852
魚類	TMNH-F	3	34	2,433	1,504	3,937
両生類	TMNH-AM	0	0	77	49	126
爬虫類	TMNH-RE	1	2	162	54	216
鳥類	TMNH-AV	58	25	680	319	999
哺乳類	TMNH-MA	16	23	638	190	828

(4) 鳥類等の資料化

自然史博物館では、交通事故や窓ガラスなどに衝突して死亡した野生動物を市民の協力を得て収集している。令和3年度に剥製あるいは骨格標本などに資料化したものは以下のとおりである。

種名	形状	数量
モズ	組立骨格標本	1
ハイタカ	組立骨格標本	1
クイナ	組立骨格標本	1
ヒクイナ	本剥製、胴部の骨	1
カイツブリ	本剥製、胴部の骨	1
ケリ	本剥製、胴部の骨	1
アカエリヒレアシシギ	本剥製、胴部の骨	1
ウグイス	本剥製、胴部の骨	1
ハヤブサ	本剥製、胴部の骨	1
アリスイ	本剥製、胴部の骨	1
トウネン	本剥製、胴部の骨	1
セキショクヤケイ	本剥製、胴部の骨	1
トド	皮なめし	1
計		13

(5) 外部研究者の資料利用

収蔵資料について、主に調査研究を目的とした研究者の利用について、令和3年度は10件を受入れた。

①件 名：遺伝子解析のためのサンプリング

利用者：総合研究大学院大学 石黒直隆

内 容：ニホンオオカミ頭骨

②件 名：標本調査

利用者：龍谷大学 伊藤 玄

内 容：タナゴ類

③件 名：ウミガメ骨格の比較検討

利用者：群馬県立自然史博物館 長谷川善和

内 容：オサガメ骨格標本

④件 名：3D骨格標本の作製

利用者：犬山市教育委員会 古市博之

内 容：エドモントサウルス全身骨格・ナウマンゾウ全身骨格

⑤件 名：ポスターへの画像使用

利用者：産業技術総合研究所 渡辺真人

内 容：ブラウンスイシカゲガイ画像、オオスナモグリ画像

⑥件 名：古琵琶湖層群カワニナ化石の形態観察

利用者：京都大学 澤田直人

内 容：古琵琶湖層群産カワニナ化石

⑦件 名：炭酸塩コンクリーションの重量測定と写真撮影

利用者：深田地質研究所 村宮悠介

内 容：メゾンクリーク化石

⑧件 名：イガイ科の分類学的研究

利用者：シンガポール国立大学 Tan Koh Siang

内 容：Xenostrobus sp. 画像

⑨件 名：渥美層群の植物化石観察

利用者：大阪市立大学 光山未花

内 容：黒田コレクションの液浸標本

⑩件 名：渥美層群の植物化石観察

利用者：大阪市立大学 山田敏弘

内 容：黒田コレクションの液浸標本

(6) 資料及び標本の貸出・借用

1) 貸出

①貸出先：三笠市立博物館

目 的：特別展「ポケモン化石博物館」にて展示のため

貸出期間：令和3年4月21日～9月30日

貸出資料：化石・化石レプリカ6点

②貸出先：国立科学博物館

目 的：特別展「植物 地球を支える仲間た

ち」にて展示のため

貸出期間：令和3年6月21日～9月30日

貸出資料：プラタナス等植物化石1点

③貸出先：島根県立三瓶自然館

目的：特別展「ポケモン化石博物館」にて
展示のため

貸出期間：令和3年9月20日～令和4年3月
20日

貸出資料：化石・化石レプリカ6点

④貸出先：浜松市博物館

目的：干支展「寅」での展示のため

貸出期間：令和4年1月22日～5月20日

貸出資料：自然史博物館標本・資料126点

⑤貸出先：国立科学博物館 芳賀拓真

目的：分類学的研究のため

貸出期間：令和4年1月23日～7月23日

貸出資料：サクラガイ類化石14点

⑥貸出先：蒲郡市生命の海科学館

目的：企画展「アンモナイトのれきし」で
の展示のため

貸出期間：令和4年3月8日～7月8日

貸出資料：アンモナイト等化石8点

⑦貸出先：国立科学博物館

目的：特別展「ポケモン化石博物館」にて
展示のため

貸出期間：令和4年3月3日～6月30日

貸出資料：化石・化石レプリカ15点

2) 借用

①借用先：神奈川県立生命の星・地球博物館

目的：展示標本および学習標本として利用
するため

借用期間：令和3年4月1日～令和4年
3月31日

借用資料：ストロマトライト、リップルマーク
などの岩石標本9点

②借用先：浜松市博物館

目的：干支展「寅」での展示のため

借用期間：令和3年12月14日～令和4年1
月22日

借用資料：歴史・民俗学的資料等16点

③借用先：豊橋市地下資源館

目的：干支展「寅」での展示のため

借用期間：令和3年12月14日～令和4年5
月20日

借用資料：虎目石・赤虎目石・鷹目石

④借用先：産業技術総合研究所 地質調査総合
センター

目的：企画展「美しい砂の世界」での展示
のため

借用期間：令和4年2月19日～3月20日

借用資料：パネルデータ一式

(7) 図書

1) 購入図書

(単行本)

(17冊)

書名	著者・編集・監修者	出版社
日本産テンナンショウ属図鑑	邑田 仁・大野順一・小林禧樹・東馬哲雄 (著)	北隆館
牧野植物図鑑原図集	牧野図鑑刊行 80 年記念出版編集委員会 (著)	北隆館
植調 雑草大鑑	浅井元朗 (著)	全国農村教育協会
ネイチャーガイド 日本のスゲ	勝山輝男 (著)	文一総合出版
新版ウミウシ	小野篤司・加藤昌一	誠文堂新光社
日本の食肉類	増田隆一 (編)	東京大学出版会
日本の外来哺乳類	山田文雄・池田 透・小倉 剛 (編)	東京大学出版会
コウモリ学	船越公威 (著)	東京大学出版会
ジュゴンとマナティー	粕谷俊雄 (訳)	東京大学出版会
松井章著作集 動物考古学論	丸山真史・菊池大樹 (編)	新泉社
コンクリートの鉱物化学	丸 章夫 (著)	森北出版
砕石等統計年報	経済産業統計協会(編)	経済産業統計協会
Biology and Evolution of the mollusca, Volume I	Winston F. Ponder, David R. Lindberg and Juliet, M. Ponder (著)	CRC Press
Biology and Evolution of the mollusca, Volume II	Winston F. Ponder, David R. Lindberg and Juliet, M. Ponder (著)	CRC Press
The Freshwater Gastropods of North America, Volume I: Atlantic Drainages, Georgia Through Pennsylvania	Robert T. Dillon, Jr., Paul Ashton, Will Reeves, Thomas Smith, Timothy Stewart and Brian Watson (著)	Bookbaby
Biological collections: Ensuring critical research and education for the 21th century	National academies of Sciences Engineering and Medicine, Division on Earth and Life Studies, Board on Life Sciences and Committee on Ensuring Critical Research and Education for the 21 st Century (著)	National Academies Press
Geologic time scale 2020 Volume 1-2	F. M. Gradstein, James G. Ogg, Mark Schmitz and Gabi Ogg (編)	Elsevier

(雑誌類)

(42冊)

雑誌名	巻号数	出版社
日経サイエンス	第51巻5～12号、第52巻1～4号	日経サイエンス社
科学	第91巻4～12号、第92巻1～3号	岩波書店
遺伝	第75巻3～6号、第76巻1～2号	エヌ・ティー・エス
昆虫と自然	第56巻4～12号、第57巻1～3号	ニューサイエンス社

2) 交換・寄贈図書等

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

国内：277機関から790冊

国外：11カ国19機関から64冊

個人：3人から567点

3) 図書資料収蔵点数

46,328点 (令和4年3月31日現在)

6. 施設整備

(1) 収蔵庫5 標本棚

生物系標本を適正に収蔵庫内へ収蔵するため、収容力が高い棚の設置や庫内レイアウトの見直し等、収蔵庫の再整備を進めている。令和3年度は、貝類用標本棚と魚類・無脊椎動物用標本棚を更新した。

契約金額：9,169,600円

納入業者：株式会社東和

(2) 特別企画展示室屋上防水改修工事

特別企画展示室の屋上の排水溝等の防水改修工事を行った。

契約金額：3,230,700円

請負業者：有限会社創喜商会

修繕期間：令和3年5月14日～7月28日

(3) カプセルトイ自動販売機の設置

賃貸業者を入札により選定し、図書コーナー内にカプセルトイ自動販売機を設置した。

(4) 修繕等

1) 当初予算

①滅菌装置修繕

滅菌装置中の滅菌釜内にある加温管一式を取替える修繕を行った。

契約金額：354,200円

請負業者：東化研株式会社

修繕期間：令和3年5月14日～8月20日

②移動観覧席座面等修繕

特別企画展示室の移動観覧席の座面等を取替える修繕を行った。

契約金額：647,350円

請負業者：KSS株式会社

修繕期間：令和3年6月14日～9月24日

③古生代展示室映像演出システム非接触化修繕

古生代展示室ストロマトライト映像演出及

び原核生物・真核生物映像演出について非接触化する修繕を行った。

契約金額：550,000円

請負業者：教育産業株式会社 豊橋営業所

修繕期間：令和3年6月14日～7月7日

④収蔵庫(5)空調機(AP-47) 室外機修繕

収蔵庫(5)空調機(AP-47)の室外機の圧縮機を取替える修繕を行った。

契約金額：297,000円

請負業者：株式会社中部技術サービス

修繕期間：令和3年7月21日～8月31日

⑤中央監視盤付属集中監視端末取替修繕

中央監視盤付属集中監視端末(タブレット)を取替える修繕を行った。

契約金額：297,000円

請負業者：ジョンソンコントロールズ株式会社 名古屋支店

修繕期間：令和3年8月2日～10月13日

⑥自然史博物館雑給水ポンプ修繕

研究棟にある雑給水ポンプの圧力計・圧力スイッチを取替える修繕を行った。

契約金額：77,000円

請負業者：株式会社アイテム

修繕期間：令和3年9月1日～29日

⑦エレベータ電源装置等取替修繕

郷土の自然展示室内にあるエレベータについて電源装置等を取替える修繕を行った。

契約金額：209,000円

請負業者：東芝エレベータ株式会社 中部支店

修繕期間：令和3年9月10日～12月21日

⑧自然史博物館電話機配線修繕

事務室電話機の部品を取替える修繕を行った。

契約金額：33,000円

請負業者：音羽電子システム株式会社
修繕期間：令和3年9月30日～11月26日

- ⑨自然史博物館収蔵庫屋上既設防水取合修繕
収蔵庫屋上の防水修繕を行った。
契約金額：88,000円
請負業者：有限会社創喜商会
修繕期間：令和3年11月29日～12月3日

- ⑩古生代～新生代展示室展示物修繕
古生代展示室のメゾンクリーク PC、中生代恐竜劇場の調光制御ユニット及び新生代展示室のキネクトシステムの部品を取替える修繕を行った。
契約金額：999,900円
請負業者：株式会社丹青社
修繕期間：令和4年1月17日～2月22日

- ⑪3D プロジェクタデータサーバー代替機交換調整
4K3D対応デジタルシネマシステムプロジェクタのデータサーバーを代替機に交換する修繕を行った。
契約金額：99,000円
請負業者：株式会社デジタル・アンド・デザイン・ピクチャーズ
修繕期間：令和4年2月1日～18日

- ⑫自然史博物館天井雨漏り修繕
特別企画展示室入り口付近の雨漏りのため損傷している天井を穴あきケイカル板に交換

する修繕を行った。
契約金額：99,000円
請負業者：株式会社ニシ
修繕期間：令和4年2月15日～21日

- ⑬券売機新500円硬貨対応アクセプター交換
券売機を新500円硬貨に対応できるアクセプターに交換する修繕を行った。
契約金額：60,280円
請負業者：ヒカワークス株式会社
修繕期間：令和4年3月1日～30日

- ⑭古生代展示室照明LED化修繕
古生代展示室の照明をLEDに交換する修繕を行った。
契約金額：376,794円
請負業者：有限会社栄和電工
修繕期間：令和4年1月24日～3月25日

2) 補正予算

- ①豊橋市自然史博物館空調取替修繕
ガラパゴス物語展示室(AP-7)、化石を知るコーナー(AP-8)及び講堂前の廊下(AP-13)の空調機を取替える修繕を行った。
契約金額：11,770,000円
請負業者：株式会社中部技術サービス
修繕期間：令和3年9月22日～令和4年1月27日

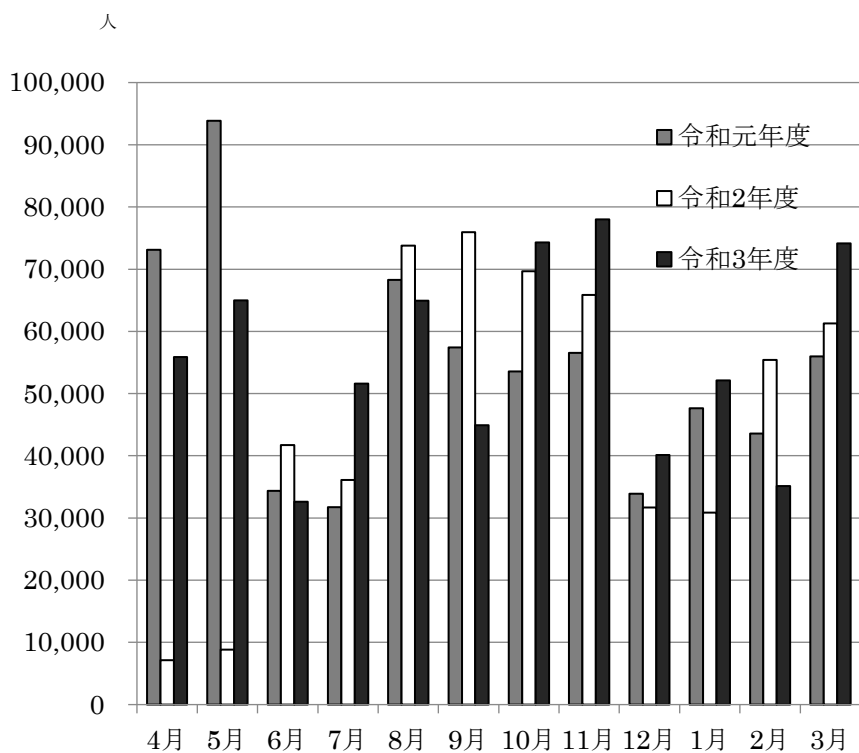
II. 利用状況

1. 入館者

(1) 自然史博物館利用統計

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	入館者	前年比	動植物公園	入館者	前年比	動植物公園	入館者	前年比	動植物公園
月	人	%	人	人	%	人	人	%	人
4	73,103	△1.8	106,889	7,132	△90.2	16,095	55,872	683.4	104,383
5	93,864	△0.5	152,174	8,826	△90.6	27,961	64,978	636.2	107,922
6	34,367	△15.3	47,175	41,734	21.4	58,893	32,627	△21.8	50,707
7	31,722	28.2	45,993	36,135	13.9	49,654	51,601	42.8	62,131
8	68,270	△10.4	66,952	73,798	8.1	95,131	64,950	△12.0	76,858
9	57,440	△10.0	70,953	75,963	32.2	107,333	44,907	△40.9	59,530
10	53,572	△28.2	125,542	69,678	30.1	111,254	74,298	6.6	111,533
11	56,519	5.2	87,992	65,842	16.5	92,001	78,017	18.5	108,666
12	33,888	32.8	51,369	31,659	△6.6	49,791	40,120	26.7	58,378
1	47,645	11.6	59,208	30,840	△35.3	43,172	52,114	69.0	67,327
2	43,552	45.5	58,072	55,421	27.3	68,753	35,110	△36.6	48,486
3	55,996	△14.5	90,521	61,265	9.4	84,884	74,161	21.0	104,226
年計	649,938	△2.4	962,840	558,293	△14.1	804,922	668,755	19.8	960,167
累計	15,629,879	—	—	16,188,172	—	—	16,856,927	—	—

※平成4年4月29日、「動物園」と「自然史博物館」が一体の有料都市公園施設となり、名称が『豊橋総合動植物公園』となる。平成8年4月27日植物園オープン。



(2) 入館者種別

(項目別入館者数)

区分	曜日等の区別			合計
	日曜・祝日等	土曜日	その他	
開館日数	67 日	51 日	196 日	314 日
入館者総数	331,559 人	173,995 人	163,201 人	668,755 人
1 日平均	4,949 人	3,412 人	833 人	2,130 人
1 か月平均	27,630 人	14,500 人	13,600 人	55,730 人
1 日最高入館者	5 月 4 日 11,202 人	4 月 3 日 6,369 人	8 月 11 日 7,669 人	—

(3) ホームページ閲覧者数

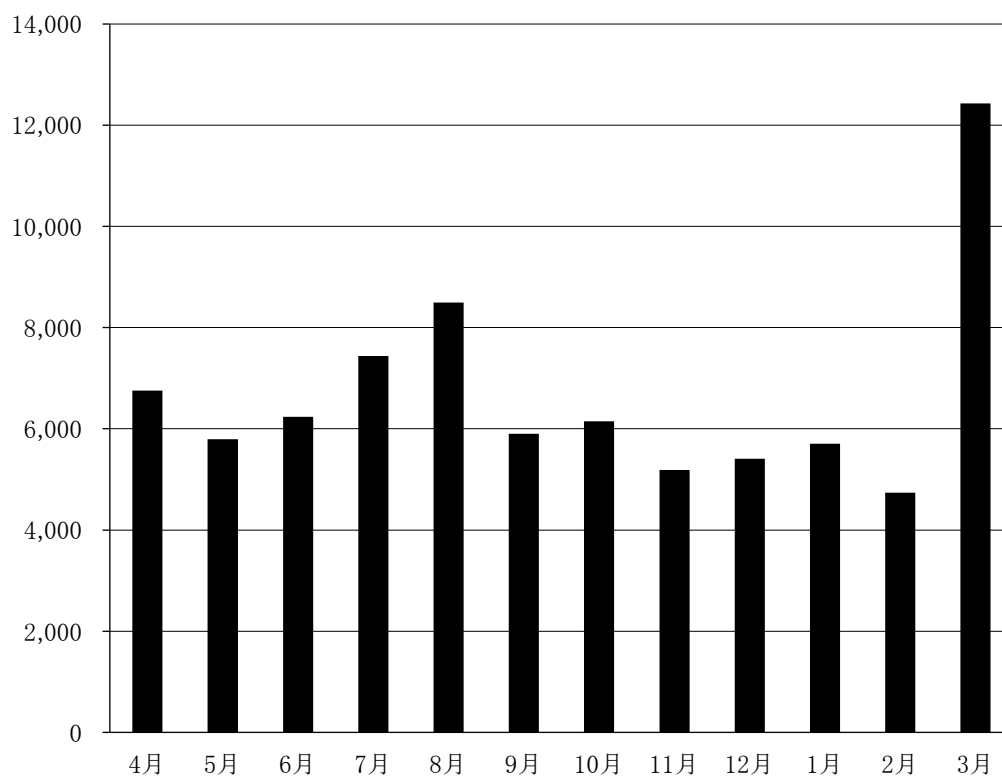
月	トップページ	英語板
令和3年4月	6,755	91
5月	5,791	74
6月	6,235	66
7月	7,441	65
8月	8,494	106
9月	5,904	273
10月	6,149	302
11月	5,188	318
12月	5,410	121
令和4年1月	5,705	202
2月	4,740	176
3月	12,431	178
計	80,243	1,972

※豊橋市自然史博物館ホームページ：<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>

※ホームページ開設：2000年10月7日

※アクセス解析によるページビュー数

アクセス数(トップページ)



(4) 石巻自然科学資料館入館者状況

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比
月	日	人	%	日	人	%	日	人	%
4	26	443	△50.1	11	378	△14.7	26	818	116.3
5	27	860	△8.8	6	153	△82.2	26	885	478.4
6	26	715	47.4	25	608	△15.0	26	620	2.1
7	26	358	△1.4	27	413	15.4	27	445	7.7
8	27	403	6.6	26	686	70.2	26	267	△61.1
9	25	453	23.1	26	608	34.2	26	400	△34.2
10	27	615	△7.2	27	706	14.8	27	745	5.5
11	26	840	△5.1	25	970	15.5	25	676	△30.3
12	26	565	△26.4	27	998	76.6	27	564	△43.5
1	27	594	△25.8	27	580	△2.4	26	716	23.4
2	25	500	0.4	24	709	41.8	24	453	△36.1
3	26	1,145	92.1	26	598	△47.8	27	743	24.2
計	314	7,491	△1.9	277	7,407	△1.1	313	7,332	△1.0

※平成12年度から、機構改革に伴い資料館の管理が、商業観光課から自然史博物館に移管された。

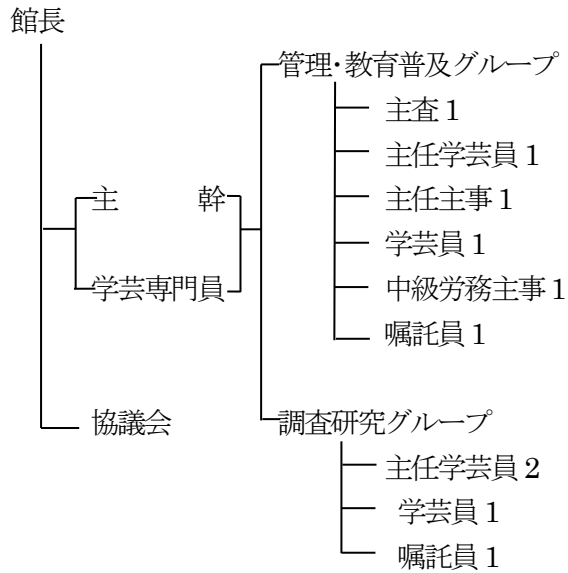
※平成13年4月1日から、自然史博物館の附属施設となった。(豊橋市自然史博物館条例の一部改正)

III. 組織及び運営

1. 組織

(1) 運営組織

(令和4年3月31日)



ミュージアムアドバイザー

(2) 自然史博物館職員

(令和4年3月31日)

役職名	氏名
館長	坂本博一
主幹	大澤昌章
学芸専門員	長谷川道明
主査	太田里香
主任学芸員	加藤千茶子
主任学芸員	安井謙介
主任学芸員	西浩孝
主任主事	丹羽美春
学芸員	一田昌宏
学芸員	稗田真也
中級労務主事	内藤翔太
嘱託員	谷野正明
嘱託員	保木井伸佳

ミュージアムアドバイザー	松岡敬二
--------------	------

2. 博物館の使用料等

①入館料：自然史博物館入館料は、豊橋総合動植物公園の入園料の一部として、総合動植物公園入園料に一本化されている。(平成4年4月29日以降)

区分	豊橋総合動植物公園入園料	
	個人	団体
大人	600円	480円
小・中学生	100円	80円

※学齢に達しない者は、無料とする。

②使用料(観覧等)：自然史博物館条例第4条 特別企画展観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	特別企画展観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000円	800円
小・中学生	400円	300円

※学齢に達しない者は、無料とする。

※団体とは、30人以上とする。

大型映像観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	大型映像観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000円	800円
小人(中学生以下)	400円	300円

※個人利用において学齢に達しない者は、保護者1人につき1人に限り無料とする。

※団体とは、30人以上とする。

③手数料：自然史博物館条例第5条 博物館の資料を撮影等するとき。

区分	単位	手数料 (消費税10%)
複写	1枚につき	20円
模写	1点につき	1,030円
模造	1点につき	1,030円
拓本	1点につき	1,030円
撮影	撮影した写真を出版物等への掲載を目的とする場合	1点につき 1,030円
	その他の場合	300円

④講堂、特別企画展示室使用料：自然史博物館条例第6条

区分	単位	使用料 (消費税10%)
講堂	午前9時から 正午まで	3,510円
	午後1時から 午後4時30分まで	4,150円
	午前9時から 午後4時30分まで	7,660円
特別企画 展示室	午前9時から 正午まで	9,600円
	午後1時から 午後4時30分まで	10,670円
	午前9時から 午後4時30分まで	20,270円

※入場料又は会費の類を徴収する場合の使用料は、当該使用料の倍額とする。

3. 決算

(1) 令和3年度歳入歳出決算見込

(歳入)

項名	説明	決算見込額
使用料	観覧料等	円 13,082,341
手数料	資料複写等手数料	3,390
国庫補助金	自然史博物館事業費	250,450
財産収入	その他賃貸料	2,082,305
諸収入	図録頒布収入	307,300
	講座等収入	127,200
	電話収入	890
	光熱水費収入	117,818
	小計	553,208
合計		15,971,694

(歳出)

費目	決算見込額	費目	決算見込額
報酬	円 9,277,069	(光熱水費)	円 10,897,725
給料	44,403,600	(修繕料)	16,644,089
職員手当等	31,212,887	(医薬材料費)	4,625
共済費	16,006,400	役務費	1,332,292
報償費	124,000	委託料	35,148,932
旅費	912,325	使用料及び賃借料	17,719,692
需用費	34,559,218	工事請負費	3,845,116
(消耗品費)	4,718,974	原材料費	21,303
(燃料費)	145,105	備品購入費	13,098,677
(食糧費)	1,000	負担金、補助及び交付金	588,100
(印刷製本費)	2,165,700	公課費	0
合計		合計	208,249,611

4. 豊橋市自然史博物館協議会

第1回

期 日：令和3年7月16日（火）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員（8名）

伊藤昭康、安村信弘、杉山康子、木下桂子、丸山香奈江、島田知彦、中神則子、河村善也

事務局（7名）

議 題：

- ・会長及び副会長の互選について
会 長 安村信弘
副会長 河合敏博
- ・令和2年度 自然史博物館事業報告について
- ・第6次豊橋市総合計画について
- ・令和3年度 自然史博物館主要事業について
- ・教育施設との連携活動について
- ・自然史博物館の将来像について

第2回

新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。委員に資料を配布した。

配布資料：

- ・令和3年度の主な活動について
- ・令和4年度の主要事業計画(案)について
- ・自然史博物館の将来像について

豊橋市自然史博物館協議会委員

(令和3年度)

役職名	氏名	部門
小中学校長会代表	河合敏博	学校教育
小中学校長会代表	伊藤昭康	学校教育
自治連合会代表	安村信弘	社会教育
元自然史博物館 ボランティア代表	杉山康子	社会教育
小中学校 PTA 連絡協議会代表	木下桂子	家庭教育
小中学校 PTA 連絡協議会代表	丸山香奈江	家庭教育
愛知教育大学 准教授	島田知彦	学識経験
豊橋創造大学 教授	三輪多恵子	学識経験
元豊城中学校教頭	中神則子	学識経験
愛知教育大学 名誉教授	河村善也	学識経験

5. 各種委員会

(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員

購入予定資料、寄贈受入予定資料等について審査、意見を聴衆する。令和3年度は寄贈された昆虫標本に伴う審査を行った。

期 日：令和4年2月18日（金）

場 所：自然史博物館学習室1

出席者：委員1名（該当分野委員のみによる審査）、事務局3名

豊橋市自然史博物館資料収集委員

（令和3年度）

区分	氏名	所属・役職
古生物	河村善也	愛知教育大学名誉教授
植物	藤井伸二	人間環境大学准教授
昆虫	江田信豊	元南山大学教授
脊椎動物	織田銃一	元岡山理科大学教授 元名古屋大学大学院教授

(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会

第1回

期 日：令和3年6月16日（水）

場 所：自然史博物館講堂

報告事項：

- 令和2年度に行ったアンケート結果と対応（案）について

議 題：

- 令和3年度の事業について
 - ・「とよはし科学月間」について
 - ・第17回自然史博物館自由研究展
 - ・出前授業／標本貸出セット
- 学校連携事業の充実と博物館利用の促進について
 - ・自然史博物館、科学教育センター、動植物園と学校との連携事業
 - ・博物館の利用促進について
 - ・科学教育センター（地下資源館）の利用に

ついて

- その他

第2回

期 日：令和3年10月5日（火）～13日（水）

の間で各委員が都合に合わせて来館、審査

場 所：自然史博物館講堂

議 題：

- 第17回自然史博物館自由研究展応募作品の審査

第3回

期 日：令和4年2月28日（月）

場 所：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面にて開催

議 題：

- 令和3年度の事業報告
- 令和4年度博物館の事業について
 - ・令和4年度自由研究展
 - ・「わくわく体験活動」を利用した「ポケモン化石博物館」の見学の促進について
 - ・館内Wi-Fiの整備
- その他

豊橋市自然史博物館研究委員（令和3年度）

区分	氏名	所属・役職
委員長	村井正照	大村小学校長
委員	山田真裕	豊城中学校教諭
委員	鈴木進太郎	石巻中学校教諭
委員	植田景子	二川小学校教諭
委員	稲橋 卓	富士見小学校教諭
委員	佐羽尾かおり	西郷小学校教諭
委員	鈴木理恵子	天伯小学校教諭

(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会

期 日：令和3年6月24日（木）

場 所：自然史博物館講堂

主席者：委員長、委員4人、事務局4人

議 題：

- ・令和3年10月からの自然史博物館大型映像デジタル番組組込・宣伝業務の契約候補者の選定について
- ・その他

豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会

(令和3年度)

区分	氏名	所属・役職
委員長	三輪多恵子	豊橋創造大学教授、 のんほいパーク盛り 上げ隊代表
委員	佐々木順一郎	とよはしまちなか スロータウン映画 祭顧問
委員	黒柳 勉	豊橋市立中学校理 科研究部長
委員	原田 誠	豊橋市立小学校理 科研究部長
委員	坂本博一	豊橋市自然史博物 館長

6. 自然史博物館ボランティア

市民参加による博物館事業の推進及び生涯学習に資するため、平成8年度より博物館ボランティアの一般公募を行っている。常設展示及び特別企画展の解説活動を主とする「教育普及ボランティア」と、標本の処理、登録作業を行う「資料ボランティア」がある。令和3年度は、91人が登録し、活動を行った。

1) 新規ボランティア説明会及び研修

本年度は20人の応募者があり、所定の研修後、18人を採用した。

2) 運営委員会の開催

ボランティア主催の行事を自主的に企画・運営する運営委員に7人が選出され、8回の運営委員会が開催された。

3) ボランティア・ガイドツアー

本年度のボランティアによる常設展示室のガイドツアーは新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、実施を見合わせた。代替活動として、展示室のスポットガイドを6回開催し、参加者は270名であった。

4) ボランティア通信「ぶしったこ」の発行

ボランティアの相互交流と情報交換を目的としたボランティア通信「ぶしったこ」を34号から36号まで発行した。

5) 特別企画展関連行事での活動

第35回特別企画展「地球は昆虫であふれている」の会場内にて、展示解説などを行った。

6) 恐竜大掃除

令和3年12月10日(金)に開催された

恐竜大掃除に19人が参加し、野外恐竜ランドの実物大恐竜模型及び博物館内の恐竜骨格標本の清掃を職員とともにいった。

7) ボランティア主催行事

下記の研修会を自主的に企画し、開催した。

①チリモン基礎講座

期 日：令和3年6月25日(金)

参加者：15人

②園内植物観察会

期 日：令和3年8月3日(火)

参加者：12人

③バックヤード案内(貝類)

期 日：令和3年12月4日(土)

参加者：14人

④教育普及活動研修会

期 日：令和3年12月10日(金)

参加者：19名

⑤バックヤード案内(岩石・鉱物)

期 日：令和4年1月29日(土)

参加者：14人



⑥レプリカ作製法講座

期 日：令和4年2月19日(土)

参加者：9人

⑦バックヤード案内(化石)

期 日：令和4年3月20日(日)

参加者：9人

令和3年度のボランティア活動実績（令和3年4月～令和4年3月）

分野	登録人数	活動のべ人数	活動のべ時間	活動内容	
運営委員会	7	55	105	自主研修等の企画・運営	
編集委員会	6	40	118	ボランティア通信の編集・発行	
教育普及	32	92	230	展示解説等	
資料整理	植物	10	217	618	標本整理、作製等
	貝類	6	80	198	標本ラベル記入、リスト作成等
	昆虫	8	97	205	標本作製等
	魚類	4	17	32	標本作製等
	脊椎動物	20	207	546	標本作製等
	化石	14	208	507	化石クリーニング、登録等
	岩石・鉱物	10	43	160	登録、リスト作成等
	図書	6	90	148	図書受入、登録、配架等
小計	78	959	2,414		
計	123	1,146	2,867		

※登録人数は91人、内32人が複数分野に登録

IV. 条例、規則、要綱

豊橋市自然史博物館条例

(昭和 63 年 3 月 31 日条例第 6 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）第 18 条の規定に基づき、豊橋市自然史博物館及びその附属施設（以下「自然史博物館」という。）の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(設 置)

第 2 条 自然史に関する資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供し、併せて博物館資料に関する調査研究を行い、市民の文化の向上に資するため、自然史博物館を次の場所に置く。

名称	位置
豊橋市自然史博物館	豊橋市大岩町字大穴 1 番地の 238
(附属施設) 豊橋市石巻自然科学 資料館	豊橋市石巻町字南山 93 番地の 2

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(事 業)

第 3 条 自然史博物館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等を開催すること。
- (5) 自然史に関する展示等のための会場を提供すること。
- (6) その他教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

(観覧等)

第 4 条 特別企画展示室において特別な企画に基づく博物館資料の展示品を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

2 特別企画展示室において大型映像を観覧しようとする者は、別表第 2 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

全部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

一部改正〔平成 23 年条例 13 号〕

(博物館資料の利用等)

第 5 条 博物館資料の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者は、その際別表第 3 に定める手数料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用の承認等)

第 6 条 自然史に関する展示又は博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等のために自然史博物館を使用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、その際別表第 4 に定める使用料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用料等の減免)

第 7 条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料又は手数料を減免することができる。

(使用の制限)

第 8 条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、使用を承認しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 管理上支障があると認めるとき。
- (3) その他教育委員会が必要があると認めるとき。

(権利譲渡の禁止等)

第9条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

2 使用者は、自然史博物館に特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用承認の取消等)

第10条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認めた場合には、自然史博物館の使用の承認を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。

(1) 使用者が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 公益上又は管理上特に必要があると認められたとき。

(使用料等の還付)

第11条 納付された使用料又は手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限)

第12条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(1) 入館者に迷惑をかけ、又は自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷するおそれがあると認められたとき。

(2) 管理上支障があると認められたとき。

(原状回復)

第13条 使用者は、自然史博物館の使用を終わったとき又は第10条の規定により使用の承認を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

(損害賠償)

第14条 入館者又は使用者は、自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失したときは、市長の指示に従い、これを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると

認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(自然史博物館協議会)

第15条 法第20条第1項の規定に基づき、自然史博物館に豊橋市自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の委員は、再任されることができる。

一部改正〔平成24年条例8号〕

(委 任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

*別表類は下記の箇所を参照。

第4条 別表第1. 57 ページ ②

〃 別表第2. 〃 〃

第5条 別表第3. 57 ページ ③

第6条 別表第4. 57 ページ ④

豊橋市自然史博物館条例施行規則

(昭和63年4月5日教育委員会規則第4号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、豊橋市自然史博物館条例(昭和63年豊橋市条例第6号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 豊橋市自然史博物館及び附属施設(以下「自然史博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

2 自然史博物館の入館時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が

必要があると認めるときは、入館時間を変更することができる。

一部改正〔平成13年教委規則8号〕

(休館日)

第3条 自然史博物館の休館日は、次の各号に掲げる施設に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 豊橋市自然史博物館 次に掲げる日

ア 1月5日から12月28日までの毎週月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

イ 1月1日及び12月29日から同月31日まで

(2) 豊橋市石巻自然科学資料館 月曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

全部改正〔平成13年教委規則8号〕

一部改正〔平成19年教委規則3号〕

(観覧等)

第4条 条例第4条第1項の規定により、特別な企画に基づく展覧会(以下「特別企画展」という。)を観覧しようとする者(以下「特別企画展観覧者」という。)は、使用料の納付と引換えに教育委員会がその都度定める様式による観覧券の交付を受けなければならない。

2 条例第4条第2項の規定により、大型映像を観覧しようとする者は、使用料の納付と引き換えに観覧券(様式第1)の交付を受けなければならない。

3 前2項又は次条第1項の規定により交付された観覧券は、特別企画展示室の入口において改札と同時に半券を回収する。ただし、団体観覧の場合は、この限りでない。

全部改正〔平成4年教委規則14号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(前売券の交付)

第5条 教育委員会は、特別企画展観覧者に対しては、前条第1項に規定する観覧券にかえて教育委員会がその都度定める様式による前売観覧券(以下「前売券」という。)を交付することができる。

2 前項の前売券を交付する場合の使用料の額は、当該前売券に係る特別企画展の団体観覧料と同額とする。

追加〔平成8年教委規則5号〕

(優待券等の発行)

第6条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の利用)

第7条 条例第5条第1項の規定により博物館資料(条例第2条に規定する博物館資料をいう。以下同じ。)の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、博物館資料利用申請書(様式第2)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認申請手続)

第8条 条例第6条第1項の規定により、自然史博物館の使用承認を受けようとする者は、使用承認申請書(様式第3)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定による申請の手続は、使用日の属する月の6月前から使用日前7日前までにしなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認)

第9条 教育委員会は、前条の規定による申請を承認したときは、使用承認書(様式第4)を申請者に交付する。

2 前項の承認には、管理上必要な条件を附することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(手数料の減免)

第10条 条例第7条の規定により、手数料の減免を受けようとする者は、手数料減免申請書(様式第5)を市長に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料の減免)

第11条 条例第7条の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 免除

ア 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡設楽町、同郡東栄町及び同郡豊根村(以下「東三河地域」という。)の小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の教育活動の一環として児童又は生徒及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

ウ 東三河広域連合の交付するほの国子どもパスポートの所持者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

エ 東三河地域に居住し、又は通園している学齢に達していない者のうち、保護者1人につき2人目以降の者が大型映像を観覧するとき。

(2) 免除又は減額

ア 観覧しようとする日の属する年の12月31日までに70歳以上となる者(市内に住所を有する者に限る。)が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 市長が特別の事情があると認めるとき。

2 前項第1号イ及び第2号イの規定により使

用料の免除又は減額を受けようとする者は、使用料減免申請書(様式第6又は様式第7)を市長に提出しなければならない。

3 第1項第1号(イを除く。)及び第2号アの規定によりの規定により使用料の免除を受けようとする者は、それぞれに掲げる免除事由に該当することを係員に示さなければならない。

全部改正〔平成5年教委規則6号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号・16年7号・25年4号・27年10号・30年7号〕

(特別の設備)

第12条 条例第9条第2項の規定により許可を受けようとする者は、自然史博物館の使用承認の申請の際に併せてその申請をしなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料等の還付)

第13条 条例第11条ただし書の規定により既納の使用料又は手数料の全部又は一部を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 特別企画展若しくは大型映像を観覧しようとする者又は使用者の責に帰することのできない事由で観覧し、又は使用することができなくなったとき。

(2) その他市長が特別の事由があると認めるとき。

一部改正〔平成4年教委規則10号・14号・8年5号〕

(博物館資料の館外貸出し)

第14条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、教育委員会が適当と認めたものについては、この限りでない。

2 前項の館外貸出しを受けようとする者は、資料館外貸出申請書(様式第8)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の寄託)

第15条 自然史博物館は、博物館資料の寄託

を受けることができる。

- 2 博物館資料を寄託しようとする者（以下「寄託者」という。）は、資料寄託申請書（様式第9）を教育委員会に提出しなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、寄託者に資料受託書（様式第10）を交付するものとする。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（自然史博物館協議会）

第16条 条例第15条第1項に規定する豊橋市自然史博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

- 2 会長及び副会長の任期は各1年とし、再任を妨げない。
- 3 会長は会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（会 議）

第17条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（説明又は資料の請求等）

第18条 会長は、会議において関係職員に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

- 2 関係職員は、会議に出席して意見を述べるることができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（委 任）

第19条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

一部改正〔平成8年教委規則5号・12年

7号〕

豊橋市自然史博物館資料収集委員会設置要綱 （設置）

第1条 豊橋市自然史博物館（以下「自然史博物館」という。）における博物館資料の収集を適正かつ円滑に行うため、豊橋市自然史博物館資料収集委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（組織）

第2条 委員会は、5人以内の委員をもって組織する。

- 2 委員は、自然史各分野について専門的な知識を有する者から教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 前各項の規定にかかわらず、必要に応じ、第4条の規定に基づく審査案件の専門知識を有する者を臨時委員として委嘱することができる。

（会議）

第3条 委員会は、教育委員会が招集する。

- 2 審査案件が単件又は同一の専門分野のみの場合、当該案件について専門的な知識を有する委員のみによる審査に代えることができる。
- 3 委員会は、非公開とする。

（審査事項等）

第4条 委員会は、博物館資料となる資料の購入又は受入れに関し、次に掲げる事項を審査するものとする。

- (1) 対象となる資料の真贋及び学術的価値に関する事項
- (2) 対象となる資料の評価額に関する事項
- (3) 対象となる資料の適法性に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、資料の購入又は受入れに関し市長が必要と認める事項

- 2 次の各号のいずれかに該当する場合、自然

史博物館は、あらかじめ委員会の意見を聴取するものとする。

(1) 評価額が1件100万円以上の博物館資料の購入、寄贈又は寄託を受け入れようとするとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、特に必要と認める資料を購入し、又は受け入れようとするとき。

3 委員会は、第1項の規定による審査の終了後、博物館資料審査報告書(別添様式)を作成し、審査結果を報告する。

4 第1項の規定による審査の内容について利害関係を有する委員は、前3項に基づく任務に加わることができない。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(秘密の保持)

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年7月27日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年1月1日から施行する。

豊橋市自然史博物館研究委員会要綱

(設置)

第1条 豊橋市自然史博物館(以下「自然史博物館」という。)の教育普及活動の効率的な推進を図るために、豊橋市自然史博物館研究委員会(以下「研究委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 研究委員会は、次に掲げる事業について、必要に応じ協議し、助言を行う。

- (1) 自然史博物館の施設利用に関すること。
- (2) 学校との連携事業に関すること。

(3) その他特に必要と認められること。

(委員)

第3条 研究委員会は、委員長及び委員をもって構成し、定数は10名以内とする。

2 委員長及び委員は、市内小中学校の教諭で理科又は美術を担当するものうちから教育委員会が委嘱する。

3 委員長は、研究委員会を招集し、委員会の議長となる。

(委員会)

第4条 研究委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

2 研究委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 研究委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(守秘義務)

第6条 委員長及び委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その任期後も、同様とする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(委任)

第8条 研究委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成15年6月4日から施行する。

V. 自然史博物館の概要

経過

昭和58年	デンバー自然史博物館（アメリカ）と友好提携 実物恐竜化石アナトサウルス購入
昭和60～62年度	建設工事（市制施行80周年記念事業）
昭和63年5月1日	開館
平成4年4月29日	総合動植物公園オープン
平成4年12月19日	大型映像スタート
平成7年3月25日	郷土の自然展示室展示改装オープン
平成16年4月29日	古生代展示室展示改装オープン
平成20年4月26日	中生代展示室展示改装オープン
平成28年5月2日	新生代展示室展示改装オープン

展示室等面積

単位：m²

常設展示室の標本展示数

室名	当初面積	増築面積 (平成4年)	増築面積 (平成14年)	増築面積 (平成18年)	合計	展示室名	展示数 (点)
特別企画展示室	0	658	0	0	658	イントロホール	9
郷土の自然展示室 (ガラパゴス含む) ^{※1}	224	465	0	0	689	古生代展示室	564
収蔵庫	116	436	0	0	552	中生代展示室/ エドモントサウルス展示室	330
学習室・研究室・ 製作室等	159	278	0	0	437	新生代展示室	624
古・中・新生代展 示室 ^{※2}	1,276	0	242	224	1,742	自然史スクエア	2
設備機械室	221	151	31	25	428	郷土の自然展示室	2,387
廊下・便所・その 他	1,591	887	0	0	2,478	その他	299
計	3,587	2,875	273	249	6,984	計	4,215

※1 1階（ガラパゴス含む）：500 m²、2階：189 m²

※2 古生代展示室：506 m²、中生代展示室・エドモントサウルス展示室：794 m²、新生代展示室：442 m²

令和4年3月31日現在

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
1. よく働き豊かな町をつくりましょう
1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

豊橋市自然史博物館年報

第34号 令和3年度

令和4年7月13日 発行

発行 豊橋市自然史博物館

〒441-3147

豊橋市大岩町字大穴 1-238

電話 (0532)41-4747

FAX (0532)41-8020

<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>